2024年度

サレジオ工業高等専門学校

情報公開

（4. 上記以外の情報）

2024年9月現在

（1）教育研究上の情報

国際交流・社会貢献概要

① 海外の協定相手校
② 社会貢献活動
③ 大学間連携
④ 産官学連携

海外協定相手校（2024年5月1日現在）

校名	国	内容
泰日工科大学	タイ	学生・教員交流
ドンボスコ·マンダルイヨン工科大学	フィリピン	学生・教員交流
モンゴル高専教育センターNGO	モンゴル	学生・教員交流
ドンボスコ・テクニカル・カレッジ・ファトマカ	東ティモール	学生・教員交流
ネーグルカレッジ	オーストラリア	学生・教員交流
サレジアンカレッジ・サンバリースクール	オーストラリア	学生・教員交流
サリア・サレジオ大学	スペイン	学生・教員交流
教皇庁立サレジオ大学	イタリア	学生・教員交流

社会人学生数

・2024年5月1日現在　0名
・2024年5月1日現在　0名

International exchange Center
国際交流センター

本校では育英高専時代から様々な国際交流活動を行ってきましたが、2005年の移転を機に国際交流活動を取りまとめるため国際交流委員会が発足しました。
翌年、国際交流室として本格的な活動が開始、2012年度より国際交流センターとなりました。

現在、本校の教育目標の一つである「国際性」："海外の人々と交流するために必要とする基本的な力"を養うため海外のサレジオ会との強い連携を活かした様々なプログラムを提供しています。

［1］サレジオ高等教育機構IUSについて

世界に広がるサレジオ会系学校のうち、高等教育（大学レベル）以上の教育を行っている教育機関で「サレジオ高等教育機構IUS」を構成しています。その中で「工学教育」を行っている高等教育機関により、2005年5月にIUS工学グループ（IUS-Eng）が設立されました。本校もそのひとつに属し、"アジアの地域の活動の中心"としての役割が与えられています。この独自の世界ネットワークを生かして互いの智慧を交換する活動も進んでいます。

［1］-1 直近の国際交流（IUSミーティング）

2019年3月7~9日には、再生可能エネルギーをテーマにフィリピンやパプアニューギニア、セブのIUS加盟校から教授を招聘し、国際社会のエネルギー問題に貢献すべく活発なセッションを行いました。今後5~6年かけて下記の3つのステップでさらなる発展を目指します。

First Step
Assessment and evaluation of the Renewable Energy Education at Salesio Japan, DBTC Mandaluyong, DBTC – Cebu, and DBTC PNG.
(From March, 2019 to August, 2020) Each institution will gather data about what they are doing in educating the students regarding renewable energy. It has been agreed that the study will cover only the participants' institution, not the whole region, and that only students in technical programs will be involved. The output of this will be presented in the JSEE International Conference.

Second Step
Development of Curriculum for Renewable Energy Education.
(From August, 2019 to April, 2020) The data gathered in the first step will be used to develop a curriculum which will then be implemented on each institution.

Third Step
Analysis, Evaluation and Improvement of the Curriculum.
Results on the application of the curriculum on the institutions.

関連リンク（学外）

- ▶ Salesian Institutions of Higher Education – IUS
- ▶ Continental Networks - Salesian Institutions of Higher Education

Other Support Center

















フィリピン交換研修 - 2.チャレンジ力 - サレジオ高専で育む3つの力

マンダルイヨン・ドン・ボスコ工科大学との学生交流

2006年よりフィリピンのマニラにある姉妹校、マンダルイヨン・ドン·ボスコ工科大学との交流協定が成立し、学生交流が開始されました。双方の学校から毎年10名の学生代表が互いの学校を訪問し異文化に触れるチャンスを活かし親交を深めています。

フィリピンの学生たちにとっては、日本の先端テクノロジーに触れる格好の機会となっています。本校の学生たちは、現地での英語研修をはじめとし、ホームステイなど貴重な体験を通じ、サレジオ教育の素晴らしさを体感しています。さらなる関係を目指し、研究交流活動に重点を置いた教員および学生の短期派遣プログラムの準備も進めています。



■ その他の国際交流

【INDEX】サレジオ高専の国際交流

東ティモール・ボランティア活動 - 3.サレジオ力 - サレジオ高専で育む3つの力

高専生として得た知識と技術を活かして、東南アジアの人々の生活を少しでも向上させることや、現地の人々と一緒に働き技術を伝えながら、学生の心身を育てることを目的とした活動です。

東ティモールは、育英高専時代からボランティア活動を通して深く関わってきた地域で、現地には88の姉妹校があります。アジア最貧国と言われる東ティモールですが、豊かな自然とたくましく生きる人々の姿、子供たちの笑顔を見ると日本が失ってしまったものを垣間見ることができます。

2009年度は手掘りによる井戸造り・女子修道院の衛星電話システムの構築、2010年度はサレジオ会が運営する大規模農場でのファームステイを行いました。



サレジアン・ヨーロッパ文化体験学習ツアー - 3.サレジオカ - サレジオ高専で育む3つの力

本校は伝統的な行事の一環として、30年以上にわたって「ヨーロッパ研修旅行」を催行しています。西欧文化の源泉に触れながら、全世界にある本校の姉妹校にも訪問し、さらに創立者聖ドン・ボスコの故郷トリノを訪れ交流と研修を深めることを目的としています。

ここ数年は、スペイン・バルセロナまたはフランス・パリにも同時に訪れるプログラムを行っています。パリからTGVを利用し、トリノ、ミラノ、ヴェネツィア、フィレンツェ、ローマを列車で巡ることも貴重な体験となっています。

このツアーを通じてヨーロッパの文化に影響を受け現地への留学を決意し、進路として選ぶ卒業生も少なくありません。

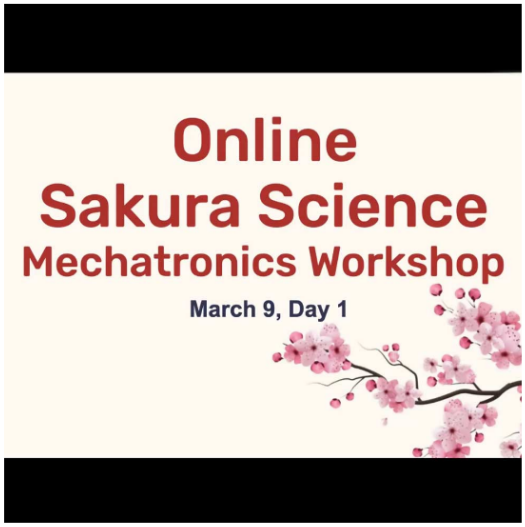


研修旅行（4年・H24年度 シンガポール）

4年次の研修旅行。外国の文化に触れ、日本という国を外から眺める良い経験になります。



報告 -「カリタス・ドン・ボスコ・スクールとの国際交流2021 」



オンラインセミナー

【報告】
カリタス・ドン・ボスコ・スクールとの国際交流2021

[2022-08-08]

さくらサイエンスプログラムの採択を受け、国際オンラインセミナーを開催

JST（国立研究開発法人 科学技術振興機構）さくらサイエンスプログラムの採択を受け、2022年3月9日（水）～11日（金）の3日間、フィリピンにあるサレジアンファミリーのカリタス・ドン・ボスコ・スクール（CDBS：Caritas Don Bosco School）の生徒に向けて、機械電子工学科の 米盛 弘信 准教授 が国際交流の一環として、Zoomを使用したウェビナー（国際オンラインセミナー）を実施しました。[*1] 例年は、フィリピンの生徒が日本へ来日して、本校学生が指導者となって短期モノづくり教室を行っておりますが、2020年初頭からのコロナウイルス感染症の感染拡大に伴って、実施できておりません。そこで、Zoomでオンライン接続し、来日した際に実施予定であったロボット製作について、その製作過程やロボット等の基礎知識の授業、グループディスカッション等を行いました。

本校は全世界に数千校の姉妹校があり、海外にある姉妹校との交流を盛んに行っており、技術だけではなくグローバル化している世の中で活躍できる国際性豊かな人材育成に注力しております。今後も本校ならではの教育を推進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

報告 -「カリタス・ドン・ボスコ・スクールとの国際交流2022 」



ミニロボコン後の集合写真

【報告】
カリタス・ドン・ボスコ・スクールとの国際交流2022

[2023-05-01]

フィリピンの生徒が来日し、モノづくり短期講座を通して交流しました

サレジオ高専では、2023年2月23日（木）～3月4日（土）の10日間、2022年度「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」に採択していただき、ロボット関連教育と技術修得講座を実施しました。[*1] 本プログラムでは、フィリピンにあるサレジアンファミリーが運営するカリタス・ドン・ボスコ・スクール（CBDS：Caritas Don Bosco School）の生徒10名と先生1名を招聘し、モノづくりに関する短期講座を行いました。題材は、本校機械電子工学科で実施している自律制御ロボット「落ちない君」をベースとし、電子回路の基板製作からマイコンのプログラミング、および機械実習としてアーク溶接まで幅広い内容のモノづくり講習を行いました。特にロボットの製作においては、PDCAサイクルを意識し、製作だけではなく改善作業までの一連の活動を体得することを目的としました。

フィリピンの生徒は、初めて行う教育内容に大きな興味をもって非常に真剣な眼差しで受講していました。実習中は、タガログ語・英語・日本語が混じり合い、相手に意思を伝えようと工夫する姿勢が見受けられ、日本・フィリピン双方の学生にWin-Winの関係が築けて非常に活発な技術交流になりました。



Regional exchange Center
地域交流センター

サレジオ高専地域交流センターは、多摩境への移転を機に、産学連携の推進を目的として平成15年４月に発足した産学連携委員会を、平成16年4月に技術交流センターと改称し、広く地域に開かれた教育機関として近隣の町田、八王子、相模原を中心に産学官事業への積極的な参加を実施してきました。

平成22年4月には守備範囲を技術にとどめず、文化、スポーツを含め広範な領域で地域社会に貢献するため地域交流センターと改称。本センターは、産学官連携の拠点及び学内外共同研究施設として、本校の教育、研究および地域企業との共同研究や技術交流等を推進するとともに、地域との連携活動を通して地域社会に貢献することを目的として活動しています。

さらに、地域のさまざまな要望に応えるため、センター組織に産学官連携、研究発表、教育文化活動支援の部門を設け教育・文化事業にも取り組んでいます。町田、八王子、相模原の市民大学等での公開講座の実施をはじめ、研究会参加やボランティア活動などの地域支援事業も積極的に行っています。

Other Support Center


キャリアセンター


総合メディアセンター


応用技術センター


地域交流センター


国際交流センター


基礎教育センター


学生支援センター


施設・設備

ご案内



【サレジオ高専プレゼンツ】

アルゼンチン・サッカー教室2018

要予約

■対象: 小学1～6年生

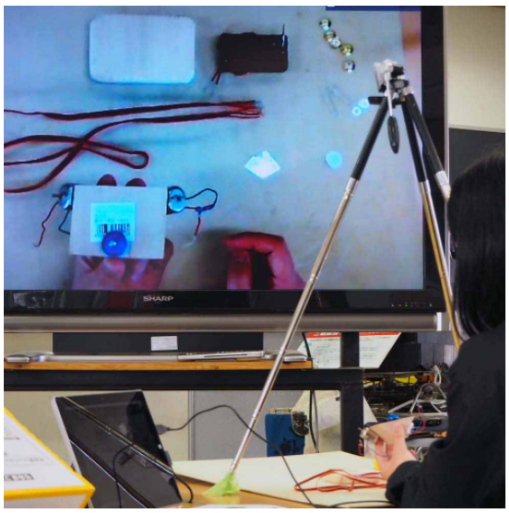
メッシ、テベス、アグエロを生んだアルゼンチン流育成メソッドを体験できる「アルゼンチンサッカー教室」に無料でご招待します!!!

2018 開催情報

日時: ・8月26日（日） 9:00～13:05（予定）
場所: ・サレジオ高専内 人工芝グランド
定員: ・各クラス100名迄（先着順）
参加費: ・無料



報告 -「ロボット教室2020 in サレジオ オンライン開催(大学コンソーシアム八王子学生企画事業補助金採択事業) 」



ロボット教室2020 in サレジオ

【報告】

ロボット教室2020 in サレジオ オンライン開催

[2021-05-06]

小学生向けのすもうロボット製作教室を開催しました

本校の機械電子工学科学科プロジェクトが2020年11月28日、「ロボット教室2020 in サレジオ」[*1]をオンラインで開催しました。

このイベントは、例年本校が参加している八王子いちょう祭りでも大人気の「すもうロボット」の製作が、お家でいつでも体験できるというもの。ご家庭に郵送される製作キットと解説動画で、気軽にロボット製作を楽しむことができます。またイベント開催日には、学生がZoomを通して一緒にロボットを製作しながら、作り方を解説しました。

オンライン開催という慣れない環境下でも、多くの方々に楽しんで貰えるように試行錯誤する学生達の姿が印象的でした。

単位互換制度について

本校では、教育の活性化と充実、および学生に対して多用な学習機会を提供することを目的として、大学コンソーシアム八王子単位互換協定に加盟しています。これにより加盟校で開講する一部の授業を受講し、本校にはない他大学の授業や設備、新鮮な雰囲気を味わうことが出来ます。残念ながら、現在のところ専攻科学生のみの参加に限られていますが、より高い知識や見聞を身につけることの出来る制度なので活用してください。

大学コンソーシアム八王子公式サイト↓
https://gakuen-hachioji.jp/main-business/credit/

開設大学	前期（春学期）授業期間	後期（秋学期）授業期間
多摩美術大学	4／10（水） ～ 8／5（月）	9／4（水） ～ 1／20（月）
東京工科大学	4／12（金） ～ 7／25（木）	9／23（月） ～ 1／10（金）
創価大学	4／5（金） ～ 7／26（金）	9／13（金） ～ 1／28（火）
サレジオ工業高等専門学校	4／8（月） ～ 8／2（金）	9／9（月） ～ 1／29（水）
ヤマザキ動物看護大学	4／6（土） ～ 7／26（金）	9／19（木） ～ 1／22（水）
東京家政学院大学	4／8（月） ～ 7／23（火）	9／21（土） ～ 1／24（金）
東京工業高等専門学校	4／10（水） ～ 7／26（金）	10／1（火） ～ 1／27（月）
山野美容芸術短期大学	4／8（月） ～ 8／5（月）	9／24（火） ～ 2／8（土）
東京造形大学	4／15（月） ～ 7／26（金）	9／5（木） ～ 12／24（火）
東京純心大学	4／8（月） ～ 7／29（月）	9／13（金） ～ 1／20（月）
杏林大学	4／6（土） ～ 7／23（火）	9／18（水） ～ 1／11（土）
明星大学	4／8（月） ～ 7／27（土）	9／10（火） ～ 1／25（土）
工学院大学	4／8（月） ～ 7／26（金）	9／12（木） ～ 1／11（土）
帝京大学	4／8（月） ～ 7／26（金）	9／9（月） ～ 1／10（金）
帝京大学短期大学	4／8（月） ～ 7／26（金）	9／9（月） ～ 1／10（金）
拓殖大学	4／12（金） ～ 7／22（月）	9／27（金） ～ 1／20（月）

※ ご自身の所属校において、他大学等への学生派遣（他大学等の授業等の受講）の可否を予め確認してください。
※ この制度を利用して他大学等で履修する場合には、受入れ大学等の学事日程で受講することになります。
※ 年度末考査等の詳細な日程については、履修許可後に受入れ大学等で確認してください。

1. 産学官連携

大学コンソーシアム八王子、相模原・町田大学コンソーシアム、首都圏南西地域産業活性化フォーラム等の地域関係団体に加盟し企業との共同研究等の産学官連携活動を推進している。

2. 学校間交流

大学コンソーシアム八王子による単位互換協定を各大学と締結し又種々の機会を通じ様々な学校間交流を実施している。

3. 教育・文化支援

町田市、町田商工会議所、地域商栄会等の諸団体と連携し諸活動を行っている。
又恒例行事としてクリスマス時期にはミッションスクールとしての特長を活かした行事を開催している

4. 公開講座

大学コンソーシアム八王子等を通じた各種市民提供講座を行っている。
又夏休みに近隣小学校児童を対象にサマースクールを実施している。

サレジオ高専のクリスマスイベント

1. クリスマス・イルミネーション

クリスマス・イルミネーションを点灯します。

12月初旬の点灯式は、地域の皆様にもご参加いただいております。



2. 親子クリスマスリース教室

地域の親子の皆様を対象に、クリスマスリースの作り方教室を行っております。

※要事前予約



3. クリスマス・ミサ

校内のチャペル（サレジアン・ホール）でクリスマス・ミサを行います。地域の皆様にもご参加いただいております。





クリスマス・ミサの様子

【報告】
クリスマス・ミサ 2021/12/24

[2022-02-02]

サレジアンホールでクリスマス・ミサを行いました

本校では例年12月24日に、本校サレジアンホールでクリスマス・ミサを開催しています。2021年も近隣の方をお招きして、十分な感染対策のもと、ミサを行いました。

(2)財務情報

① 2018年度の計算書類
② 2019年度の計算書類
③ 2020年度の計算書類
④ 2021年度の計算書類
⑤ 2022年度の計算書類

資　金　収　支　計　算　書

平成３０年　４月　１日から
平成３１年　３月３１日まで

（単位　円）

収入の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	1,281,511,700	1,276,225,367	5,286,333
手数料収入	12,554,000	11,806,820	747,180
寄付金収入	6,078,942	9,388,573	△ 3,309,631
補助金収入	410,292,520	411,655,667	△ 1,363,147
国庫補助金収入	120,000,000	110,933,823	9,066,177
地方公共団体補助金収入	290,292,520	300,721,844	△ 10,429,324
資産売却収入	545,535,799	545,545,799	△ 10,000
付随事業・収益事業収入	40,959,610	48,668,543	△ 7,708,933
受取利息・配当金収入	322,700	343,043	△ 20,343
雑収入	36,175,465	42,164,737	△ 5,989,272
借入金等収入	0	1,200,000	△ 1,200,000
前受金収入	78,180,000	70,010,000	8,170,000
その他の収入	62,043,812	62,944,087	△ 900,275
資金収入調整勘定	△ 115,508,100	△ 127,435,722	11,927,622
前年度繰越支払資金	1,211,370,611	1,211,370,611	
収入の部合計	3,569,517,059	3,563,887,525	5,629,534

支出の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	1,130,942,401	1,129,393,850	1,548,551
教育研究経費支出	333,384,249	303,953,321	29,430,928
管理経費支出	105,367,270	99,065,630	6,301,640
借入金等利息支出	1,890,895	1,890,616	279
借入金等返済支出	345,540,000	345,540,000	0
施設関係支出	223,322,865	223,322,865	0
設備関係支出	65,429,667	60,595,970	4,833,697
資産運用支出	20,000,000	14,200,000	5,800,000
その他の支出	75,864,773	73,803,883	2,060,890
〔予備費〕	24,665,000 10,335,000		10,335,000
資金支出調整勘定	△ 36,929,862	△ 40,436,065	3,506,203
翌年度繰越支払資金	1,294,369,801	1,352,557,455	△ 58,187,654
支出の部合計	3,569,517,059	3,563,887,525	5,629,534

法人名　育英学院

活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書

平成30年　4月　1日から
平成31年　3月　31日まで

＜総括表＞　　（単位　円）

		科　　目	金　　額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,276,225,367
		手数料収入	11,806,820
		経常費等補助金収入	400,821,667
		教育活動資金収入計	1,787,903,807
	支出	人件費支出	1,129,393,850
		教育研究経費支出	303,953,321
		調整勘定等	▲ 32,931,542
施設整備等活動による資金収支		科　　目	金　　額
	収入	施設設備補助金収入	1,171,900
		施設整備等活動資金収入計	557,551,699
	支出	施設関係支出	223,322,865
		設備関係支出	60,595,970
		施設整備等活動資金支出計	298,118,835
		差引	259,432,864
		調整勘定等	1,370,761
		施設整備等活動資金収支差額	260,803,625
その他の活動による資金収支		科　　目	金　　額
	収入	借入金等収入	1,200,000
		小計	11,752,947
		受取利息・配当金収入	343,043
		その他の活動資金収入計	12,095,990
	支出	借入金等返済支出	345,540,000
		小計	352,381,619
		借入金等利息支出	1,890,616
		調整勘定等	▲ 342,176,245
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）			141,186,844
前年度繰越支払資金			1,211,370,611
翌年度繰越支払資金			1,352,557,455

事　業　活　動　収　支　計　算　書

平成３０年　４月　１日から
平成３１年　３月３１日まで

（単位　円）

		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,281,511,700	1,276,225,367	5,286,333
		手数料	12,554,000	11,806,820	747,180
		寄付金	5,528,182	8,469,637	△ 2,941,455
		経常費等補助金	404,138,520	400,821,667	3,316,853
		国庫補助金	120,000,000	110,933,823	9,066,177
		地方公共団体補助金	284,138,520	289,887,844	△ 5,749,324
		付随事業収入	40,959,610	48,668,543	△ 7,708,933
		雑収入	36,452,430	42,456,702	△ 6,004,272
		教育活動収入計	1,781,144,442	1,788,448,736	△ 7,304,294
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		人件費	1,130,984,608	1,131,298,172	△ 313,564
		教育研究経費	614,244,222	562,277,959	51,966,263
		管理経費	147,420,436	139,377,219	8,043,217
		徴収不能額等	582,000	581,980	20
		教育活動支出計	1,893,231,266	1,833,535,330	59,695,936
		教育活動収支差額	△ 112,086,824	△ 45,086,594	△ 67,000,230
教育活動外収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		受取利息・配当金	322,700	343,043	△ 20,343
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	322,700	343,043	△ 20,343
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		借入金利息	1,890,895	1,890,616	279
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,890,895	1,890,616	279
		教育活動外収支差額	△ 1,568,195	△ 1,547,573	△ 20,622
経常収支差額			△ 113,655,019	△ 46,634,167	△ 67,020,852
特別収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産売却差額	544,245,914	541,412,868	2,833,046
		その他の特別収入	6,754,000	13,007,618	△ 6,253,618
		特別収入計	550,999,914	554,420,486	△ 3,420,572
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産処分差額	1,165,009	1,231,202	△ 66,193
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	1,165,009	1,231,202	△ 66,193
		特別収支差額	549,834,905	553,189,284	△ 3,354,379
〔予備費〕			(12,021,000) 22,979,000		22,979,000
基本金組入前当年度収支差額			413,200,886	506,555,117	△ 93,354,231
基本金組入額合計			△ 19,275,055	△ 547,789,937	528,514,882
当年度収支差額			393,925,831	△ 41,234,820	435,160,651
前年度繰越収支差額			△ 2,746,537,017	△ 2,746,537,017	0
基本金取崩額			0	707,838,248	△ 707,838,248
翌年度繰越収支差額			△ 2,352,611,186	△ 2,079,933,589	△ 272,677,597

（参考）

事業活動収入計	2,332,467,056	2,343,212,265	△ 10,745,209
事業活動支出計	1,919,266,170	1,836,657,148	82,609,022

（学校法人　育英学院）

貸　借　対　照　表

平成３１年　３月３１日

（単位　円）

資産の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
固定資産	11,117,144,660	11,125,358,413	△ 8,213,753
有形固定資産	9,762,059,209	9,780,846,308	△ 18,787,099
特定資産	1,338,346,280	1,324,146,280	14,200,000
その他の固定資産	16,739,171	20,365,825	△ 3,626,654
流動資産	1,427,655,167	1,307,265,231	120,389,936
資産の部合計	12,544,799,827	12,432,623,644	112,176,183
負債の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
固定負債	665,294,990	1,008,158,589	△ 342,863,599
流動負債	172,946,864	224,462,199	△ 51,515,335
負債の部合計	838,241,854	1,232,620,788	△ 394,378,934
純資産の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
基本金	13,786,491,562	13,946,539,873	△ 160,048,311
第１号基本金	13,665,977,343	13,826,025,654	△ 160,048,311
第２号基本金	0	0	0
第３号基本金	0	0	0
第４号基本金	120,514,219	120,514,219	0
繰越収支差額	△ 2,079,933,589	△ 2,746,537,017	666,603,428
純資産の部合計	11,706,557,973	11,200,002,856	506,555,117
負債及び純資産の部合計	12,544,799,827	12,432,623,644	112,176,183

（学校法人　育英学院）

財 産 目 録

平成３１年３月３１日現在

（単位： 円）

科　目			年度末
一　資産額			
（一）基本財産			
1	土地(団地)		
	サレジオ工業高等専門学校	40,529 ㎡	3,765,569,100
	サレジオ中学校・小学校	7,911 ㎡	30,402,472
	目黒サレジオ幼稚園	5,121 ㎡	24,232,572
	足立サレジオ幼稚園	1,397 ㎡	219,135,799
	町田サレジオ幼稚園	4,936 ㎡	529,965,775
2	建物		
⑴	校舎	24,177 ㎡	3,113,871,629
⑵	体育館	2,818 ㎡	549,443,360
⑶	学生寮	1,123 ㎡	98,628,715
⑷	その他	2,153 ㎡	171,417,315
3	図書	57,127 冊	165,633,098
4	教具・校具・備品	10,877 点	222,004,722
	基本財産合計		8,890,304,557
（二）運用財産			
1	現金・預金		
⑴	現金		2,916,085
⑵	預金		1,349,641,370
2	積立金		1,328,502,158
3	有価証券		9,844,122
4	不動産		
⑴	土地	12,575 ㎡	442,095,954
⑵	建物	1,893 ㎡	299,525,035
⑶	構築物	158 件	119,556,617
5	未収入金		36,744,137
6	長期貸付金(奨学金等)		14,050,200
7	短期貸付金		1,160,000
8	前払金		879,835
9	立替金		185,923
10	仮払金		821,317
11	研修旅行費預り資産		35,306,500
12	その他		13,266,017
	運用財産合計		3,654,495,270
	資産の部合計（基本財産＋運用財産）		12,544,799,827
二　負債額			
1	固定負債		
⑴	長期借入金		165,405,000
⑵	退職給与引当金		474,784,958
⑶	長期未払金		25,105,032
	固定負債合計		665,294,990
2	流動負債		
⑴	短期借入金		17,940,000
⑵	前受金		71,207,380
⑶	未払金		39,454,069
⑷	預り金		9,038,915
⑸	研修旅行費預り金		35,306,500
	流動負債合計		172,946,864
	負債の部合計（固定負債＋流動負債）		838,241,854
	純財産（資産合計－負債合計）		11,706,557,973

監　査　報　告　書

令和元年５月２４日

学校法人　育　英　学　院
理　事　長　殿
理　事　会　御　中
評　議　員　会　御　中

学校法人　育　英　学　院
監事　渡　辺　新
監事　長谷川純也

私たちは、私立学校法第３７条第３項に基づく監査報告を行うため、学校法人育英学院の寄附行為第１５条の規定に従い、学校法人育英学院の平成３０年度（平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで）の、学校法人の業務及び財産の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人の業務及び財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上

資　金　収　支　計　算　書

平成３１年　４月　１日から
令和　２年　３月３１日まで

（単位　円）

収入の部

科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	1,178,624,200	1,180,428,793	△ 1,804,593
手数料収入	12,657,000	12,881,840	△ 224,840
寄付金収入	7,813,049	8,271,106	△ 458,057
補助金収入	418,045,500	422,615,305	△ 4,569,805
国庫補助金収入	121,212,000	121,212,110	△ 110
地方公共団体補助金収入	296,833,500	301,403,195	△ 4,569,695
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	53,208,223	44,931,469	8,276,754
受取利息・配当金収入	167,073	169,116	△ 2,043
雑収入	84,405,845	84,847,729	△ 441,884
借入金等収入	0	800,000	△ 800,000
前受金収入	80,924,000	81,545,220	△ 621,220
その他の収入	43,070,505	43,050,596	19,909
資金収入調整勘定	△ 127,947,845	△ 128,083,973	136,128
前年度繰越支払資金	1,352,557,324	1,352,557,455	
収入の部合計	3,103,524,874	3,104,014,656	△ 489,782

支出の部

科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	1,229,961,882	1,202,198,630	27,763,252
教育研究経費支出	294,238,539	281,563,015	12,675,524
管理経費支出	106,029,330	101,434,742	4,594,588
借入金等利息支出	1,825,000	1,733,116	91,884
借入金等返済支出	17,940,000	17,940,000	0
施設関係支出	2,790,000	2,790,008	△ 8
設備関係支出	53,380,112	46,839,478	6,540,634
資産運用支出	11,000,000	11,001,336	△ 1,336
その他の支出	49,573,972	48,539,184	1,034,788
〔予備費〕	10,909,000 23,091,000		10,335,000
資金支出調整勘定	△ 58,746,587	△ 60,719,863	1,973,276
翌年度繰越支払資金	1,372,441,626	1,450,695,010	△ 78,253,384
支出の部合計	3,103,524,874	3,104,014,656	△ 489,782

法人名　　育 英 学 院

活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書

平成31年　4月　1日から
令和 2年　3月 31日まで

＜総括表＞　　（単位 円）

		科　　目	金　　額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,180,428,793
		手数料収入	12,881,840
		経常費等補助金収入	414,570,305
		教育活動資金収入計	1,744,374,542
	支出	人件費支出	1,202,198,630
		教育研究経費支出	281,563,015
		調整勘定等	18,682,595
施設整備等活動による資金収支		科　　目	金　　額
	収入	施設設備補助金収入	1,556,700
		施設整備等活動資金収入計	9,601,700
	支出	施設関係支出	2,790,008
		設備関係支出	46,839,478
		施設整備等活動資金支出計	60,630,822
		差引	△ 51,029,122
		調整勘定等	△ 13,204,844
		施設整備等活動資金収支差額	△ 64,233,966
その他の活動による資金収支		科　　目	金　　額
	収入	借入金等収入	800,000
		小計	7,994,414
		受取利息・配当金収入	169,116
		その他の活動資金収入計	8,163,530
	支出	借入金等返済支出	17,940,000
		小計	21,919,643
		借入金等利息支出	1,733,116
		調整勘定等	0
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）			98,137,555
前年度繰越支払資金			1,352,557,455
翌年度繰越支払資金			1,450,695,010

事　業　活　動　収　支　計　算　書

平成３１年　４月　１日から
令和　２年　３月３１日まで

（単位　円）

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,178,624,200	1,180,428,793	△ 1,804,593
		手数料	12,657,000	12,881,840	△ 224,840
		寄付金	6,987,049	9,509,209	△ 2,522,160
		経常費等補助金	410,000,500	414,570,305	△ 4,569,805
		国庫補助金	121,212,000	121,212,110	△ 110
		地方公共団体補助金	288,788,500	293,358,195	△ 4,569,695
		付随事業収入	53,208,223	44,931,469	8,276,754
		雑収入	67,419,323	86,939,381	△ 19,520,058
		教育活動収入計	1,728,896,295	1,749,260,997	△ 20,364,702
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	1,258,283,882	1,204,076,221	54,207,661
		教育研究経費	580,754,623	531,852,536	48,902,087
		管理経費	151,570,789	141,305,261	10,265,528
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	1,990,609,294	1,877,234,018	113,375,276
		教育活動収支差額	△ 261,712,999	△ 127,973,021	△ 133,739,978
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	167,073	169,116	△ 2,043
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	167,073	169,116	△ 2,043
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金利息	1,825,000	1,733,116	91,884
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,825,000	1,733,116	91,884
		教育活動外収支差額	△ 1,657,927	△ 1,564,000	△ 93,927
		経常収支差額	△ 263,370,926	△ 129,537,021	△ 133,833,905
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	14,601,000	17,002,409	△ 2,401,409
		特別収入計	14,601,000	17,002,409	△ 2,401,409
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	2,894,030	1,604,235	1,289,795
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	2,894,030	1,604,235	1,289,795
		特別収支差額	11,706,970	15,398,174	△ 3,691,204
〔予備費〕			(33,487,000) 513,000		513,000
基本金組入前当年度収支差額			△ 252,176,956	△ 114,138,847	△ 138,038,109
基本金組入額合計			△ 24,423,518	△ 53,429,505	29,005,987
当年度収支差額			△ 276,600,474	△ 167,568,352	△ 109,032,122
前年度繰越収支差額			△ 2,079,933,589	△ 2,079,933,589	0
基本金取崩額			1,408,200	4,735,478	△ 3,327,278
翌年度繰越収支差額			△ 2,355,125,863	△ 2,242,766,463	△ 112,359,400

（参考）

事業活動収入計	1,743,664,368	1,766,432,522	△ 22,768,154
事業活動支出計	1,995,841,324	1,880,571,369	115,269,955

（学校法人　育英学院）

貸　借　対　照　表

令和　２年　３月３１日

（単位　円）

資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定資産	10,891,395,719	11,117,144,660	△ 225,748,941
有形固定資産	9,529,681,236	9,762,059,209	△ 232,377,973
特定資産	1,349,347,616	1,338,346,280	11,001,336
その他の固定資産	12,366,867	16,739,171	△ 4,372,304
流動資産	1,550,856,778	1,427,655,167	123,201,611
資産の部合計	12,442,252,497	12,544,799,827	△ 102,547,330
負債の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定負債	637,561,917	665,294,990	△ 27,733,073
流動負債	212,271,454	172,946,864	39,324,590
負債の部合計	849,833,371	838,241,854	11,591,517
純資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
基本金	13,835,185,589	13,786,491,562	48,694,027
第１号基本金	13,714,671,370	13,665,977,343	48,694,027
第２号基本金	0	0	0
第３号基本金	0	0	0
第４号基本金	120,514,219	120,514,219	0
繰越収支差額	△ 2,242,766,463	△ 2,079,933,589	△ 162,832,874
純資産の部合計	11,592,419,126	11,706,557,973	△ 114,138,847
負債及び純資産の部合計	12,442,252,497	12,544,799,827	△ 102,547,330

（学校法人　育英学院）

財 産 目 録

令和　２年３月３１日現在

（単位： 円）

科　目			年度末
一　資産額			
（一）基本財産			
1	土地(団地)		
	サレジオ工業高等専門学校	40,529 ㎡	3,765,569,100
	サレジオ中学校・小学校	7,911 ㎡	30,402,472
	目黒サレジオ幼稚園	5,121 ㎡	24,232,572
	足立サレジオ幼稚園	1,397 ㎡	219,135,799
	町田サレジオ幼稚園	4,936 ㎡	529,965,775
2	建物		
(1)	校舎	24,177 ㎡	3,014,034,739
(2)	体育館	2,818 ㎡	534,181,044
(3)	学生寮	1,123 ㎡	95,889,028
(4)	その他	2,153 ㎡	101,193,524
3	図書	58,734 冊	167,131,796
4	教具・校具・備品	10,938 点	221,056,659
	基本財産合計		8,702,792,508
（二）運用財産			
1	現金・預金		
(1)	現金		4,724,216
(2)	預金		1,445,970,794
2	積立金		1,339,485,769
3	有価証券		9,861,847
4	不動産		
(1)	土地	12,575 ㎡	442,095,954
(2)	建物	1,893 ㎡	289,431,634
(3)	構築物	159 件	88,646,247
5	未収入金		57,764,548
6	長期貸付金(奨学金等)		9,239,200
7	短期貸付金		1,120,000
8	前払金		5,107,740
9	立替金		0
10	仮払金		491,480
11	研修旅行費預り資産		35,678,000
12	その他		9,842,560
	運用財産合計		3,739,459,989
	資産の部合計（基本財産＋運用財産）		12,442,252,497
二　負債額			
1	固定負債		
(1)	長期借入金		146,865,000
(2)	退職給与引当金		474,570,897
(3)	長期未払金		16,126,020
	固定負債合計		637,561,917
2	流動負債		
(1)	短期借入金		19,340,000
(2)	前受金		81,545,220
(3)	未払金		68,821,308
(4)	預り金		6,886,926
(5)	研修旅行費預り金		35,678,000
	流動負債合計		212,271,454
	負債の部合計（固定負債＋流動負債）		849,833,371
	純財産（資産合計－負債合計）		11,592,419,126

監　査　報　告　書

令和2年5月22日

学校法人　育　英　学　院
理　事　長　殿
理　事　会　御　中
評　議　員　会　御　中

学校法人　育　英　学　院

監事　渡　辺　新

監事　長谷川　純

私たちは、私立学校法第３７条第３項に基づく監査報告を行うため、学校法人育英学院の寄附行為第１５条の規定に従い、学校法人育英学院の令和元年度（平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで）の、学校法人の業務及び財産の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人の業務及び財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上

資　金　収　支　計　算　書

令和　２年　４月　１日から
令和　３年　３月３１日まで

（単位　円）

収入の部

科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	1,213,473,500	1,220,917,294	△ 7,443,794
手数料収入	10,180,000	10,454,030	△ 274,030
寄付金収入	4,807,000	5,389,798	△ 582,798
補助金収入	418,503,557	421,440,351	△ 2,936,794
国庫補助金収入	137,884,441	138,435,526	△ 551,085
地方公共団体補助金収入	280,619,116	283,004,825	△ 2,385,709
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	42,420,400	42,582,760	△ 162,360
受取利息・配当金収入	179,016	181,021	△ 2,005
雑収入	79,392,450	80,777,904	△ 1,385,454
借入金等収入	600,000	600,000	0
前受金収入	61,310,000	61,960,000	△ 650,000
その他の収入	46,443,249	63,880,644	△ 17,437,395
資金収入調整勘定	△ 154,067,306	△ 163,651,091	9,583,785
前年度繰越支払資金	1,450,695,010	1,450,695,010	
収入の部合計	3,173,936,876	3,195,227,721	△ 21,290,845

支出の部

科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	1,200,534,783	1,199,705,467	829,316
教育研究経費支出	273,361,010	270,254,034	3,106,976
管理経費支出	81,503,360	77,924,736	3,578,624
借入金等利息支出	1,577,000	1,576,338	662
借入金等返済支出	19,340,000	19,340,000	0
施設関係支出	97,176,000	97,170,517	5,483
設備関係支出	58,811,903	57,348,062	1,463,841
資産運用支出	10,350,066	10,547,426	△ 197,360
その他の支出	71,604,889	71,355,867	249,022
〔予備費〕	11,890,000 33,610,000		10,335,000
資金支出調整勘定	△ 119,231,540	△ 125,286,769	6,055,229
翌年度繰越支払資金	1,445,299,405	1,515,292,043	△ 69,992,638
支出の部合計	3,173,936,876	3,195,227,721	△ 21,290,845

法人名　育 英 学 院

活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書

令和2年　4月　1日から
令和3年　3月　31日まで

＜総括表＞　　（単位 円）

		科　　目	金　　額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,220,917,294
		手数料収入	10,454,030
		経常費等補助金収入	418,528,351
		教育活動資金収入計	1,778,120,137
	支出	人件費支出	1,199,705,467
		教育研究経費支出	270,254,034
		調整勘定等	▲ 58,317,008
施設整備等活動による資金収支		科　　目	金　　額
	収入	施設設備補助金収入	2,912,000
		施設整備等活動資金収入計	3,442,000
	支出	施設関係支出	97,170,517
		設備関係支出	57,348,062
		施設整備等活動資金支出計	165,066,005
		差引	▲ 161,624,005
		調整勘定等	69,224,768
		施設整備等活動資金収支差額	▲ 92,399,237
その他の活動による資金収支		科　　目	金　　額
	収入	借入金等収入	600,000
		小計	7,604,051
		受取利息・配当金収入	181,021
		その他の活動資金収入計	7,785,072
	支出	借入金等返済支出	19,340,000
		小計	21,131,356
		借入金等利息支出	1,576,338
		調整勘定等	0
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）			64,597,033
前年度繰越支払資金			1,450,695,010
翌年度繰越支払資金			1,515,292,043

事　業　活　動　収　支　計　算　書

平成　２年　４月　１日から
令和　３年　３月３１日まで

（単位　円）

		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,213,473,500	1,220,917,294	△ 7,443,794
		手数料	10,180,000	10,454,030	△ 274,030
		寄付金	4,407,000	5,584,871	△ 1,177,871
		経常費等補助金	418,503,557	418,528,351	△ 24,794
		国庫補助金	137,884,441	135,523,526	2,360,915
		地方公共団体補助金	280,619,116	283,004,825	△ 2,385,709
		付随事業収入	42,420,400	42,582,760	△ 162,360
		雑収入	79,392,450	80,777,904	△ 1,385,454
		教育活動収入計	1,768,376,907	1,778,845,210	△ 10,468,303
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		人件費	1,201,526,098	1,202,697,069	△ 1,170,971
		教育研究経費	557,572,198	452,343,774	105,228,424
		管理経費	126,700,524	110,440,287	16,260,237
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	1,885,798,820	1,765,481,130	120,317,690
		教育活動収支差額	△ 117,421,913	13,364,080	△ 130,785,993
教育活動外収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		受取利息・配当金	179,016	181,021	△ 2,005
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	179,016	181,021	△ 2,005
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		借入金利息	1,577,000	1,576,338	662
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,577,000	1,576,338	662
		教育活動外収支差額	△ 1,397,984	△ 1,395,317	△ 2,667
		経常収支差額	△ 118,819,897	11,968,763	△ 130,788,660
特別収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	400,000	5,980,578	△ 5,580,578
		特別収入計	400,000	5,980,578	△ 5,580,578
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産処分差額	5,269,000	5,272,441	△ 3,441
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	5,269,000	5,272,441	△ 3,441
		特別収支差額	△ 4,869,000	708,137	△ 5,577,137
〔予備費〕			(12,689,000) 32,811,000		513,000
基本金組入前当年度収支差額			△ 156,499,897	12,676,900	△ 169,176,797
基本金組入額合計			△ 18,180,000	△ 15,041,238	△ 3,138,762
当年度収支差額			△ 174,679,897	△ 2,364,338	△ 172,315,559
前年度繰越収支差額			△ 2,242,766,463	△ 2,242,766,463	0
基本金取崩額			0	49,905,104	△ 49,905,104
翌年度繰越収支差額			△ 2,417,446,360	△ 2,195,225,697	△ 222,220,663

（参考）

事業活動収入計	1,768,955,923	1,785,006,809	△ 16,050,886
事業活動支出計	1,925,455,820	1,772,329,909	153,125,911

（学校法人　育英学院）

貸　借　対　照　表

令和　３年　３月３１日

（単位　円）

資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定資産	10,837,098,893	10,891,395,719	△ 54,296,826
有形固定資産	9,467,721,166	9,529,681,236	△ 61,960,070
特定資産	1,359,895,042	1,349,347,616	10,547,426
その他の固定資産	9,482,685	12,366,867	△ 2,884,182
流動資産	1,639,418,179	1,550,856,778	88,561,401
資産の部合計	12,476,517,072	12,442,252,497	34,264,575
負債の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定負債	614,127,775	637,561,917	△ 23,434,142
流動負債	257,293,271	212,271,454	45,021,817
負債の部合計	871,421,046	849,833,371	21,587,675
純資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
基本金	13,800,321,723	13,835,185,589	△ 34,863,866
第１号基本金	13,679,807,504	13,714,671,370	△ 34,863,866
第２号基本金	0	0	0
第３号基本金	0	0	0
第４号基本金	120,514,219	120,514,219	0
繰越収支差額	△ 2,195,225,697	△ 2,242,766,463	47,540,766
純資産の部合計	11,605,096,026	11,592,419,126	12,676,900
負債及び純資産の部合計	12,476,517,072	12,442,252,497	34,264,575

（学校法人　育英学院）

財 産 目 録

令和　３年３月３１日現在

（単位： 円）

科　目			年度末
一　資産額			
（一）基本財産			
1	土地(団地)		
	サレジオ工業高等専門学校	40,529 ㎡	3,765,569,100
	サレジオ中学校・小学校	7,911 ㎡	30,402,472
	目黒サレジオ幼稚園	5,121 ㎡	24,232,572
	足立サレジオ幼稚園	1,397 ㎡	219,135,799
	町田サレジオ幼稚園	4,936 ㎡	529,965,775
2	建物		
(1)	校舎	24,177 ㎡	2,914,197,849
(2)	体育館	2,818 ㎡	518,918,728
(3)	学生寮	1,123 ㎡	93,149,341
(4)	その他	2,153 ㎡	183,581,292
3	図書	58,710 冊	164,548,627
4	教具・校具・備品	10,044 点	221,201,571
	基本財産合計		8,664,903,126
（二）運用財産			
1	現金・預金		
(1)	現金		3,893,273
(2)	預金		1,511,398,770
2	積立金		1,300,015,444
3	有価証券		9,879,598
4	不動産		
(1)	土地	12,575 ㎡	442,095,954
(2)	建物	1,893 ㎡	279,338,234
(3)	構築物	161 件	77,752,312
5	未収入金		84,299,206
6	長期貸付金(奨学金等)		6,456,000
7	短期貸付金		1,100,000
8	前払金		2,943,452
9	仮払金		149,478
10	研修旅行費預り資産		35,634,000
11	その他		6,658,225
	運用財産合計		3,761,613,946
	資産の部合計（基本財産＋運用財産）		12,426,517,072
二　負債額			
1	固定負債		
(1)	長期借入金		128,525,000
(2)	退職給与引当金		477,562,499
(3)	長期未払金		8,040,276
	固定負債合計		614,127,775
2	流動負債		
(1)	短期借入金		18,940,000
(2)	前受金		63,265,380
(3)	未払金		130,465,022
(4)	預り金		8,988,869
(5)	研修旅行費預り金		35,634,000
	流動負債合計		257,293,271
	負債の部合計（固定負債＋流動負債）		871,421,046
	純財産（資産合計－負債合計）		11,555,096,026

監　査　報　告　書

令和3年5月20日

学校法人　育　英　学　院
理　事　長　殿
理　事　会　御　中
評　議　員　会　御　中

学校法人　育　英　学　院

監事　長谷川純也

監事　菅野　正

私たちは、私立学校法第３７条第３項に基づく監査報告を行うため、学校法人育英学院の寄附行為第１５条の規定に従い、学校法人育英学院の令和２年度（令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで)の、学校法人の業務及び財産の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人の業務及び財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上

資　金　収　支　計　算　書

令和　３年　４月　１日から
令和　４年　３月３１日まで

（単位　円）

収入の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	1,169,803,370	1,172,805,155	▲ 3,001,785
手数料収入	11,627,000	11,655,500	▲ 28,500
寄付金収入	4,645,000	5,195,410	▲ 550,410
補助金収入	405,438,567	414,215,603	▲ 8,777,036
国庫補助金収入	123,889,000	128,523,871	▲ 4,634,871
地方公共団体補助金収入	281,549,567	285,691,732	▲ 4,142,165
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	42,853,360	44,792,630	▲ 1,939,270
受取利息・配当金収入	157,974	160,421	▲ 2,447
雑収入	25,903,580	47,140,249	▲ 21,236,669
借入金等収入	800,000	800,000	0
前受金収入	70,930,000	71,110,000	▲ 180,000
その他の収入	193,179,510	197,463,441	▲ 4,283,931
資金収入調整勘定	▲ 97,981,423	▲ 109,039,710	11,058,287
前年度繰越支払資金	1,515,292,043	1,515,292,043	0
収入の部合計	3,342,648,981	3,371,590,742	▲ 28,941,761

支出の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	1,162,658,850	1,161,042,318	1,616,532
教育研究経費支出	329,057,165	315,880,512	13,176,653
管理経費支出	97,309,291	96,133,919	1,175,372
借入金等利息支出	1,510,000	1,418,116	91,884
借入金等返済支出	18,940,000	18,940,000	0
施設関係支出	157,370,500	145,749,533	11,620,967
設備関係支出	31,014,380	28,663,759	2,350,621
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	144,064,845	136,507,835	7,557,010
〔予備費〕	(27,140,000) 16,360,000		16,360,000
資金支出調整勘定	▲ 170,134,366	▲ 179,092,886	8,958,520
翌年度繰越支払資金	1,554,498,316	1,646,347,636	▲ 91,849,320
支出の部合計	3,342,648,981	3,371,590,742	▲ 28,941,761

活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書

令和３年　４月　１日から
令和４年　３月３１日まで

学校法人　育英学院
（単位　円）

		科　　目	金　　額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,172,805,155
		手数料収入	11,655,500
		特別寄付金　収入	1,498,000
		一般寄付金　収入	3,177,410
		経常費等補助金収入	410,608,603
		付随事業収入	44,792,630
		雑収入	47,140,249
		教育活動資金収入計	1,691,677,547
	支出	人件費支出	1,161,042,318
		教育研究経費支出	315,880,512
		管理経費支出	96,133,919
		教育活動資金支出計	1,573,056,749
		差引	118,620,798
		調整勘定等	56,984,824
	教育活動資金収支差額		175,605,622
		科　　目	金　　額
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	520,000
		施設設備補助金収入	3,607,000
		施設修繕・整備拡充引当特定資産取崩収入	104,952,867
		施設整備等活動資金収入計	109,079,867
	支出	施設関係支出	145,749,533
		設備関係支出	28,663,759
		施設修繕・整備拡充引当特定資産繰入支出	0
		施設整備等活動資金支出計	174,413,292
		差引	△　65,333,425
		調整勘定等	36,061,846
	施設整備等活動資金収支差額		△　29,271,579
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）			146,334,043
		科　　目	金　　額
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	800,000
		貸付金回収　収入	3,206,800
		預り金受入　収入	2,750,523
		仮払金回収　収入	60,000
		研修旅行預り資産受入収入	3,082,000
		小計	9,899,323
		受取利息・配当金収入	160,421
		その他の活動資金収入計	10,059,744
	支出	借入金等返済支出	18,940,000
		貸付金支払　支出	1,400,000
		預り金支払　支出	190,356
		立替金支払　支出	304,500
		仮払金支払　支出	3,222
		研修旅行預り金支払支出	3,082,000
		小計	23,920,078
		借入金等利息支出	1,418,116
		その他の活動資金支出計	25,338,194
		差引	△　15,278,450
		調整勘定等	0
	その他の活動資金収支差額		△　15,278,450
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）			131,055,593
前年度繰越支払資金			1,515,292,043
翌年度繰越支払資金			1,646,347,636

事　業　活　動　収　支　計　算　書

平成　３年　４月　１日から
令和　４年　３月３１日まで

（単位　円）

		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,169,803,370	1,172,805,155	▲ 3,001,785
		手数料	11,627,000	11,655,500	▲ 28,500
		寄付金	4,245,000	4,675,410	▲ 430,410
		経常費等補助金	401,831,567	410,608,603	▲ 8,777,036
		国庫補助金	123,889,000	128,523,871	▲ 4,634,871
		地方公共団体補助金	277,942,567	282,084,732	▲ 4,142,165
		付随事業収入	42,853,360	44,792,630	▲ 1,939,270
		雑収入	26,191,723	48,594,005	▲ 22,402,282
		教育活動収入計	1,656,552,020	1,693,131,303	△ 36,579,283
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		人件費	1,169,266,656	1,161,849,688	7,416,968
		教育研究経費	612,631,165	485,359,454	127,271,711
		管理経費	142,758,582	130,383,608	12,374,974
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	1,924,656,403	1,777,592,750	147,063,653
		教育活動収支差額	△ 268,104,383	△ 84,461,447	△ 183,642,936
教育活動外収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		受取利息・配当金	157,974	160,421	▲ 2,447
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	157,974	160,421	▲ 2,447
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		借入金利息	1,510,000	1,418,116	91,884
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,510,000	1,418,116	91,884
		教育活動外収支差額	△ 1,352,026	△ 1,257,695	△ 94,331
		経常収支差額	△ 269,456,409	△ 85,719,142	△ 183,737,267
特別収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	4,007,000	7,339,704	▲ 3,332,704
		特別収入計	4,007,000	7,339,704	△ 3,332,704
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産処分差額	1,596,000	1,641,179	▲ 45,179
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	1,596,000	1,641,179	△ 45,179
		特別収支差額	2,411,000	5,698,525	△ 3,287,525
〔予備費〕			(34,696,000) 8,804,000		8,804,000
基本金組入前当年度収支差額			▲ 275,849,409	▲ 80,020,617	▲ 195,828,792
基本金組入額合計			▲ 27,760,000	▲ 31,866,364	4,106,364
当年度収支差額			▲ 303,609,409	▲ 111,886,981	▲ 191,722,428
前年度繰越収支差額			▲ 2,195,225,697	▲ 2,195,225,697	0
基本金取崩額			0	3,831,378	▲ 3,831,378
翌年度繰越収支差額			▲ 2,498,835,106	▲ 2,303,281,300	▲ 195,553,806

（参考）

事業活動収入計	1,660,716,994	1,700,631,428	△ 39,914,434
事業活動支出計	1,936,566,403	1,780,652,045	155,914,358

（学校法人　育英学院）

貸　借　対　照　表

令和　４年　３月３１日

（単位　円）

資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定資産	10,702,375,412	10,837,098,893	▲ 134,723,481
有形固定資産	9,440,112,783	9,467,721,166	▲ 27,608,383
特定資産	1,254,942,175	1,359,895,042	▲ 104,952,867
その他の固定資産	7,320,454	9,482,685	▲ 2,162,231
流動資産	1,728,341,856	1,639,418,179	88,923,677
資産の部合計	12,430,717,268	12,476,517,072	▲ 45,799,804
負債の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定負債	590,317,737	614,127,775	▲ 23,810,038
流動負債	315,324,122	257,293,271	58,030,851
負債の部合計	905,641,859	871,421,046	34,220,813
純資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
基本金	13,828,356,709	13,800,321,723	28,034,986
第１号基本金	13,707,842,490	13,679,807,504	28,034,986
第２号基本金	0	0	0
第３号基本金	0	0	0
第４号基本金	120,514,219	120,514,219	0
繰越収支差額	▲ 2,303,281,300	▲ 2,195,225,697	▲ 108,055,603
純資産の部合計	11,525,075,409	11,605,096,026	▲ 80,020,617
負債及び純資産の部合計	12,430,717,268	12,476,517,072	▲ 45,799,804

（学校法人　育英学院）

財 産 目 録

令和　４年３月３１日現在

（単位： 円）

科　目			年度末
一　資産額			
（一）基本財産			
1	土地(団地)		
	サレジオ工業高等専門学校	40,529 ㎡	3,765,569,100
	サレジオ中学校・小学校	7,911 ㎡	30,402,472
	目黒サレジオ幼稚園	5,121 ㎡	24,232,572
	足立サレジオ幼稚園	1,397 ㎡	219,135,799
	町田サレジオ幼稚園	4,936 ㎡	529,965,775
2	建物		
(1)	校舎	24,177 ㎡	2,765,957,171
(2)	体育館	2,818 ㎡	552,060,200
(3)	学生寮	1,123 ㎡	90,409,654
(4)	その他	2,153 ㎡	310,982,529
3	図書	58,716 冊	165,487,076
4	教具・校具・備品	10,691 点	202,576,776
	基本財産合計		8,656,779,124
（二）運用財産			
1	現金・預金		
(1)	現金		2,672,957
(2)	預金		1,643,674,679
2	積立金		1,245,044,799
3	有価証券		9,897,376
4	不動産		
(1)	土地	12,575 ㎡	442,095,954
(2)	建物	1,893 ㎡	269,244,834
(3)	構築物	163 件	70,210,152
5	未収入金		46,662,285
6	長期貸付金(奨学金等)		4,429,200
7	短期貸付金		1,320,000
8	前払金		1,062,735
9	立替金		304,500
10	仮払金		92,700
11	研修旅行費預り資産		32,552,000
12	その他		4,673,973
	運用財産合計		3,773,938,144
	資産の部合計（基本財産＋運用財産）		12,430,717,268
二　負債額			
1	固定負債		
(1)	長期借入金		110,785,000
(2)	退職給与引当金		476,916,113
(3)	長期未払金		2,616,624
	固定負債合計		590,317,737
2	流動負債		
(1)	短期借入金		18,540,000
(2)	前受金		71,110,000
(3)	未払金		181,573,086
(4)	預り金		11,549,036
(5)	研修旅行費預り金		32,552,000
	流動負債合計		315,324,122
	負債の部合計（固定負債＋流動負債）		905,641,859
	純財産（資産合計－負債合計）		11,525,075,409

監　査　報　告　書

令和4年5月25日

学校法人　育　英　学　院
理　事　長　殿
理　事　会　御　中
評　議　員　会　御　中

学校法人　育　英　学　院

監事　長谷川　純也

監事　菅野　正一

私たちは、私立学校法第３７条第３項に基づく監査報告を行うため、学校法人育英学院の寄附行為第１５条の規定に従い、学校法人育英学院の令和３年度（令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで)の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上

資　金　収　支　計　算　書

令和　４年　４月　１日から
令和　５年　３月３１日まで

（単位　円）

収入の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	1,148,850,000	1,155,017,789	▲ 6,167,789
手数料収入	10,522,000	11,002,100	▲ 480,100
寄付金収入	7,633,000	7,921,020	▲ 288,020
補助金収入	426,674,850	428,709,019	▲ 2,034,169
国庫補助金収入	136,832,000	136,528,812	303,188
地方公共団体補助金収入	289,842,850	292,180,207	▲ 2,337,357
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	56,063,400	58,828,318	▲ 2,764,918
受取利息・配当金収入	67,032	67,857	▲ 825
雑収入	87,086,295	88,598,300	▲ 1,512,005
借入金等収入	123,900,000	123,900,000	0
前受金収入	62,540,000	62,760,000	▲ 220,000
その他の収入	51,793,507	51,877,249	▲ 83,742
資金収入調整勘定	▲ 137,873,001	▲ 140,049,960	2,176,959
前年度繰越支払資金	1,646,347,636	1,646,347,636	0
収入の部合計	3,483,604,719	3,494,979,328	▲ 11,374,609

支出の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	1,218,223,985	1,214,777,831	3,446,154
教育研究経費支出	336,112,622	327,616,602	8,496,020
管理経費支出	102,914,688	100,976,361	1,938,327
借入金等利息支出	2,111,241	1,922,138	189,103
借入金等返済支出	28,044,000	28,044,000	0
施設関係支出	5,085,000	5,084,377	623
設備関係支出	55,319,000	54,267,586	1,051,414
資産運用支出	10,220,000	10,216,917	3,083
その他の支出	193,904,156	192,852,156	1,052,000
〔予備費〕	(11,976,000) 32,024,000		32,024,000
資金支出調整勘定	▲ 35,006,101	▲ 39,420,065	4,413,964
翌年度繰越支払資金	1,534,652,128	1,598,641,425	▲ 63,989,297
支出の部合計	3,483,604,719	3,494,979,328	▲ 11,374,609

法人名:育英学院

活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書

令和4年 4月 1日から
令和5年 3月31日まで

＜総括表＞ （単位 円）

		科目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,155,017,789
		手数料収入	11,002,100
		経常費等補助金収入	428,709,019
		教育活動資金収入計	1,749,676,546
	支出	人件費支出	1,214,777,831
		教育研究経費支出	327,616,602
		調整勘定等	▲ 41,859,833
施設整備等活動による資金収支		科目	金額
	収入	施設設備補助金収入	0
		施設整備等活動資金収入計	400,000
	支出	施設関係支出	5,084,377
		設備関係支出	54,267,586
		施設整備等活動資金支出計	69,568,880
		差引	▲ 69,168,880
		調整勘定等	▲ 136,667,322
		施設整備等活動資金収支差額	▲ 205,836,202
その他の活動による資金収支		科目	金額
	収入	借入金等収入	123,900,000
		小計	130,002,919
		受取利息・配当金収入	67,857
		その他の活動資金収入計	130,070,776
	支出	借入金等返済支出	28,044,000
		小計	34,464,566
		借入金等利息支出	1,922,138
		調整勘定等	0
支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)			▲ 47,706,211
前年度繰越支払資金			1,646,347,636
翌年度繰越支払資金			1,598,641,425

事　業　活　動　収　支　計　算　書

令和　４年　４月　１日から
令和　５年　３月３１日まで

（単位　円）

		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,148,850,000	1,155,017,789	▲ 6,167,789
		手数料	10,522,000	11,002,100	▲ 480,100
		寄付金	7,233,000	8,481,558	▲ 1,248,558
		経常費等補助金	426,674,850	428,709,019	▲ 2,034,169
		国庫補助金	136,832,000	136,528,812	303,188
		地方公共団体補助金	289,842,850	292,180,207	▲ 2,337,357
		付随事業収入	56,063,400	58,828,318	▲ 2,764,918
		雑収入	87,822,295	88,598,300	▲ 776,005
		教育活動収入計	1,737,165,545	1,750,637,084	▲ 13,471,539
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		人件費	1,223,527,960	1,219,404,128	4,123,832
		教育研究経費	517,851,806	510,163,609	7,688,197
		管理経費	135,061,844	133,149,538	1,912,306
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	1,876,441,610	1,862,717,275	13,724,335
	教育活動収支差額		▲ 139,276,065	▲ 112,080,191	▲ 27,195,874
教育活動外収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		受取利息・配当金	67,032	67,857	▲ 825
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	67,032	67,857	▲ 825
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		借入金利息	2,111,241	1,922,138	189,103
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	2,111,241	1,922,138	189,103
	教育活動外収支差額		▲ 2,044,209	▲ 1,854,281	▲ 189,928
経常収支差額			▲ 141,320,274	▲ 113,934,472	▲ 27,385,802
特別収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	400,000	2,740,444	▲ 2,340,444
		特別収入計	400,000	2,740,444	▲ 2,340,444
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産処分差額	1,873,001	1,864,434	8,567
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	1,873,001	1,864,434	8,567
	特別収支差額		▲ 1,473,001	876,010	▲ 2,349,011
〔予備費〕			(12,790,000) 31,210,000		31,210,000
基本金組入前当年度収支差額			▲ 174,003,275	▲ 113,058,462	▲ 60,944,813
基本金組入額合計			▲ 20,508,893	▲ 69,736,672	49,227,779
当年度収支差額			▲ 194,512,168	▲ 182,795,134	▲ 11,717,034
前年度繰越収支差額			▲ 2,303,281,300	▲ 2,303,281,300	0
基本金取崩額			1,501,038	1,501,108	▲ 70
翌年度繰越収支差額			▲ 2,496,292,430	▲ 2,484,575,326	▲ 11,717,104

（参考）

事業活動収入計	1,737,632,577	1,753,445,385	△ 15,812,808
事業活動支出計	1,911,635,852	1,866,503,847	45,132,005

（学校法人　育英学院）

貸　借　対　照　表

令和　５年　３月３１日

（単位　円）

資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定資産	10,556,699,456	10,702,375,412	▲ 145,675,956
有形固定資産	9,286,276,798	9,440,112,783	▲ 153,835,985
特定資産	1,265,159,092	1,254,942,175	10,216,917
その他の固定資産	5,263,566	7,320,454	▲ 2,056,888
流動資産	1,710,196,410	1,728,341,856	▲ 18,145,446
資産の部合計	12,266,895,866	12,430,717,268	▲ 163,821,402
負債の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定負債	679,736,618	590,317,737	89,418,881
流動負債	175,142,301	315,324,122	▲ 140,181,821
負債の部合計	854,878,919	905,641,859	▲ 50,762,940
純資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
基本金	13,896,592,273	13,828,356,709	68,235,564
第１号基本金	13,776,078,054	13,707,842,490	68,235,564
第２号基本金	0	0	0
第３号基本金	0	0	0
第４号基本金	120,514,219	120,514,219	0
繰越収支差額	▲ 2,484,575,326	▲ 2,303,281,300	▲ 181,294,026
純資産の部合計	11,412,016,947	11,525,075,409	▲ 113,058,462
負債及び純資産の部合計	12,266,895,866	12,430,717,268	▲ 163,821,402

（学校法人　育英学院）

財 産 目 録

令和　５年３月３１日現在

（単位：　円）

科　目			年度末
一　資産額			
（一）基本財産			
1	土地(団地)		
	サレジオ工業高等専門学校	40,529 ㎡	3,765,569,100
	サレジオ中学校・小学校	7,911 ㎡	30,402,472
	目黒サレジオ幼稚園	5,121 ㎡	24,232,572
	足立サレジオ幼稚園	1,397 ㎡	219,135,799
	町田サレジオ幼稚園	4,936 ㎡	529,965,775
2	建物		
(1)	校舎	24,177 ㎡	2,670,066,195
(2)	体育館	2,818 ㎡	532,851,970
(3)	学生寮	1,123 ㎡	87,669,967
(4)	その他	2,153 ㎡	290,201,393
3	図書	59,107 冊	166,535,488
4	教具・校具・備品	7,909 点	207,096,264
	基本財産合計		8,523,726,995
（二）運用財産			
1	現金・預金		
(1)	現金		4,932,844
(2)	預金		1,593,708,581
2	積立金		1,255,243,911
3	有価証券		9,915,181
4	不動産		
(1)	土地	12,575 ㎡	442,095,954
(2)	建物	1,893 ㎡	259,151,434
(3)	構築物	163 件	60,958,116
5	未収入金		69,827,915
6	長期貸付金(奨学金等)		2,468,000
7	短期貸付金		1,500,000
8	前払金		4,858,504
9	立替金		636,324
10	仮払金		426,242
11	研修旅行費預り資産		34,306,000
12	その他		3,139,865
	運用財産合計		3,743,168,871
	資産の部合計（基本財産＋運用財産）		12,266,895,866
二　負債額			
1	固定負債		
(1)	長期借入金		197,322,000
(2)	退職給与引当金		481,542,410
(3)	長期未払金		872,208
	固定負債合計		679,736,618
2	流動負債		
(1)	短期借入金		27,859,000
(2)	前受金		62,760,000
(3)	未払金		40,101,746
(4)	預り金		10,115,555
(5)	研修旅行費預り金		34,306,000
	流動負債合計		175,142,301
	負債の部合計（固定負債＋流動負債）		854,878,919
	純財産（資産合計－負債合計）		11,412,016,947

令和４年度　事　業　報　告　書

１　育　　英　　学　　院　　概　　要

２　育　英　学　院　事　業　報　告　書

３　育　英　学　院　財　政　の　概　要

学校法人　育　英　学　院

1. 育英学院概要

⑴基本情報

①法人の名称　　学校法人　育英学院

②主たる事務所　住所　194-0215　東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番８号

電話　０４２－７７５－３０２０　FAX　０４２－７７５－３０２３

ホームページ　http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/ikueigakuin.html

⑵建学の精神

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従いつつ、カトリックの教育精神及び設立母体であるカトリック・サレジオ修道会の創立者ヨハネ・ボスコの教育理念に基づく学校教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする。

【学校法人育英学院寄附行為　第３条】

⑶学校法人の沿革

昭和 ８年	学校設立準備、学校設立代表者ヴィンセンシオ・チマッチ
９年	東京育英工芸学校を創設、乙種工業学校として印刷科を設置
１０年　４月　１日	学校開設
１３年　４月	木材工芸科を新設
１５年　２月２２日	財団法人組織とし、帝都育英学院と称する
１７年　３月	甲種工業学校に昇格、帝都育英工業学校と改称
２２年　４月	学制改革により帝都育英中学校を併設
２３年　３月	学制改革により帝都育英工業高等学校と改称
２４年　４月	電気科を新設
２６年　２月２６日	学校法人組織となり「学校法人　帝都育英学院」と改称
３４年　９月１０日	カトリック・サレジオ修道会より目黒サレジオ幼稚園（昭和２４年３月３０日開設）を移管される
３４年　９月１０日	目黒サレジオ中学校を設置する
３５年　３月１２日	帝都育英中学校、帝都育英工業高等学校の校名を「育英中学校」ならびに「育英工業高等学校」と改称
３７年１２月１５日	育英高等専門学校を設立する（既設学科：印刷工学科、電気工学科、工業意匠学科）
３８年　４月２６日	サレジオ高等学校を設置する（全日制：普通科）
３８年１０月　３日	学校法人名「学校法人　育英学院」と改称
３８年１０月　３日	学校法人東京サレジオ学園を吸収合併する （サレジオ小学校：昭和２２年４月１日設立、サレジオ中学校：昭和２３年３月１４日設立）
４０年　３月　１日	育英工業高等学校を廃校する
４２年　３月１３日	足立サレジオ幼稚園を設置する　　育英高等専門学校を「育英工業高等専門学校」と改称、 工業意匠学科を「工業デザイン学科」に変更改称する
４３年　３月３０日	川崎サレジオ幼稚園を設置する
５０年　１月３０日	川崎サレジオ中学校を設置する　　印刷工学科を「グラフィック工学科」と改称する
５１年　２月２３日	目黒サレジオ中学校を廃校する
５８年　４月　１日	サレジオ高等学校、川崎サレジオ中学校、川崎サレジオ幼稚園を「育英学院」より法人分離 （新設法人名「学校法人サレジオ学院」と称する）
６２年１２月２３日	電気工学科収容定員４５０人から６７５人に変更認可
６２年１２月２３日	グラフィック工学科４５０人から２２５人に変更認可
６３年　４月　１日	情報教育センター設置、男女共学の実施
平成 元年　４月　１日	電子工学科、情報工学科を開設する　　定員各４５人
２年　３月２２日	育英中学校を廃校する
５年　３月３１日	女子第１期生卒業
６年　４月　１日	１年生混成学級編成　　研究生第１期生入学　　グラフィック工学科
７年　４月　１日	１・２年混成学級編成　　研究生第２期生入学　　工業デザイン学科
９年　２月１２日	グラフィック工学科をビジュアル情報工学科に、工業デザイン学科をデザイン工学科に学科名改称する
１０年　４月　１日	サレジアン文化技術交流センター（ＳＩＴＥＣ）での教育活動を開始する
１３年　２月１５日	専攻科生産システム工学専攻設置認可
１４年　３月１１日	育英工業高等専門学校のキャンパスを多摩ニュータウン町田グランネットタウン 小山地区（京王線：多摩境駅）に移転する計画を決定し準備に入る。

平成１７年　３月３１日	東京都町田市小山ヶ丘４－６－８に育英工業高等専門学校キャンパス移転完了
	ビジュアル情報工学科第３８期生卒業　同学科閉科
１７年　４月　１日	「育英工業高等専門学校」の校名を「サレジオ工業高等専門学校」に改称する。
１７年　４月　１日	サレジオ工業高等専門学校町田キャンパス開所
１７年　５月１３日	サレジオ工業高等専門学校新校舎落成式
１９年　５月２９日	ビジュアル情報工学科廃止届。
１９年　５月２９日	電子工学科の名称を機械電子工学科に改める。
２１年　４月　１日	デザイン工学科の名称をデザイン学科に改める。
２７年　４月　１日	町田サレジオ幼稚園を設置する（平成２７年３月３１日認可）

⑷設置する学校・学科　　令和４年５月１日現在

学校及び学科名	設置年月日	校長・園長名	住　　所	電話･FAX
サレジオ工業高等専門学校	昭 37.12.15	小 島　知 博	東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番８号	TEL 042-775-3020 FAX 042-775-3021
デザイン学科	昭 37.12.15			
電気工学科	昭 37.12.15			
機械電子工学科	平元.12.22			
情報工学科	平元.12.22			
専攻科 生産システム専攻	平 13. 2.15			
サレジオ中学校	昭 23. 3.24	北 川　純 二	東京都小平市上水南町四丁目７番１号	TEL 042-321-0312 FAX 042-321-0776
サレジオ小学校	昭 22. 3.29			
目黒サレジオ幼稚園	昭 24. 8.30	三 島　　心	東京都目黒区碑文谷一丁目２６番２４号	TEL 03-3714-2531
足立サレジオ幼稚園	昭 42. 3.13	野 口　重 光	東京都足立区江北三丁目４０番２７号	TEL 03-3899-4497
町田サレジオ幼稚園	平 27.4.1	松 永　伸 子	東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２号	TEL 042-775-3120

⑸学校・学科等の学生・生徒・児童・園児の現況　　令和４年５月１日現在

学校・幼稚園名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数
サレジオ工業高等専門学校	専攻科	14	10	28	30
	デザイン学科	45	47	225	200
	電気工学科	45	20	225	148
	機械電子工学科	45	50	225	245
	情報工学科	45	54	225	209
サレジオ中学校		30	28	90	71
サレジオ小学校		30	15	180	100
目黒サレジオ幼稚園		110	78	450	237
足立サレジオ幼稚園		35	16	105	77
町田サレジオ幼稚園		60	47	180	124

⑹収容定員充足率　　（毎年度５月１日現在）

学校名	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
サレジオ工業高等専門学校	100%	93.1%	94.3%	89.6%	89.1%

※本科のみ

⑺役員の概要

定員数

理事：６人以上８人以内　監事：２人【学校法人育英学院寄附行為　第５条】令和４年５月１日現在

役員区分	氏　名	就任年月日	常勤 非常勤	主な現職等
功労者	並木　豊勝	平成２６年１２月２日	非常勤	育英学院理事長
学院長 高専校長	小島　知博	平成１７年５月３１日	常勤	育英学院学院長 サレジオ工業高等専門学校長
中学校長	北川　純二	平成２６年４月１日	常勤	サレジオ中学校長 サレジオ小学校長
評議員互選	三島　　心	平成３０年４月１日	常勤	目黒サレジオ幼稚園長
評議員互選	木戸　能史	平成２０年２月２１日	常勤	常務理事
評議員互選	小島　　勉	平成１４年４月１日	常勤	常務理事
功労者	木村　彰男	平成３１年４月１５日	非常勤	外部理事
功労者	米本　光男	平成２３年５月２６日	非常勤	外部理事
監事	長谷川　純也	平成１９年４月１５日	非常勤	
監事	菅野　正一	令和２年６月１日	非常勤	

⑻評議員の概要

定員数：１８人以上２０人以内　　【学校法人育英学院寄附行為　第１９条】　令和４年５月１日現在

評議員区分	氏　名	就任年月日	主な現職等
高専校長	小島　知博	平成２０年２月１日	サレジオ工業高等専門学校長
小学校長	北川　純二	平成２６年４月１日	サレジオ中学校長、サレジオ小学校長
幼稚園長	三島　　心	平成３０年４月１日	目黒サレジオ幼稚園長
幼稚園長	野口　重光	平成３１年４月１日	足立サレジオ幼稚園長
幼稚園長	松永　伸子	平成３１年４月１日	町田サレジオ幼稚園長
教職員	横山　松生	平成２１年２月２３日	町田サレジオ幼稚園　副園長
教職員	北川　大介	令和２年４月１日	サレジオ工業高等専門学校チャプレン
教職員	山野邉基雄	令和２年１月１日	サレジオ工業高等専門学校副校長
教職員	髙橋　　孝	平成２５年４月１５日	サレジオ工業高等専門学校事務長
同窓生	桂嶋　博明	平成２２年５月２０日	育英学院同窓会相談役
同窓生	河村　英和	平成３０年４月１日	育英学院同窓会長
理事互選	並木　豊勝	平成２６年１２月２日	育英学院理事長
理事互選	米本　光男	平成２３年５月２６日	育英学院外部理事
保護者	田村　寛	令和３年４月１日	東京サレジオ学園　施設長
保護者	尾本　芳樹	令和２年１２月３日	サレジオ工業高等専門学校　保護者会会長
学識経験	濱口　秀昭	平成３１年４月１５日	サレジオ会日本管区長
学識経験	木戸　能史	平成１４年４月１日	育英学院常務理事
学識経験	小島　　勉	平成１４年４月１日	育英学院常務理事

⑼教職員の概要　　令和４年５月１日現在

職名 / 学校名	校長 園長	教授	准教授	講師 教諭	助教 助手	非常勤 講師	事務 職員	非常勤 職員	合計
法人本部	人	人	人	人	人	人	人 2	人	人 2
サレジオ工業 高等専門学校	1	19	18	9	5	43	24	16	135
サレジオ中学校	1			10		2		1	14
サレジオ小学校	(1)			10		3	1	2	16
目黒サレジオ幼稚園	1			18		5	4	11	39
足立サレジオ幼稚園	1			6			1	5	13
町田サレジオ幼稚園	1			9		6	1	9	26
計	5	19	18	62	5	59	33	44	245

⑽その他

『学校法人育英学院寄附行為』は

http://www.salesio-sp.ac.jp/main/pdf/about_us/ikueigakuin/donation-20200401.pdf を参照。

・会議報告

理事会報告

令和４年４月１５日（金）　　午後２時００分

出席理事　８名　　出席監事　２名

第１号議案　理事・監事・評議員の確認、理事長の選任について

第２号議案　人事関連について

第３号議案　サレジオ工業高等専門学校　学納金減免者について

第４号議案　その他の重要事項及び報告

令和４年５月２５日（水）　　午後１時３０分

出席理事　８名　　出席監事　２名

第１号議案　理事・監事・評議員の確認

第２号議案　令和３年度事業報告について

第３号議案　令和３年度決算報告について

第４号議案　令和３年度財産目録について

第５号議案　監事の監査報告

第６号議案　内部監査報告書について

第７号議案　令和３年度自己点検評価書について

第８号議案　人事関連について

第９号議案　稟議書について

第１０号議案　規則・規程について

第１１号議案　その他の重要事項及び報告

令和４年９月５日（木）　　午後２時００分から
出席理事　８名　　出席監事　２名
　第１号議案　　監事・評議員の選任
　第２号議案　　サレジオ工業高等専門学校　進路状況報告
　第３号議案　　補助金関連について
　第４号議案　　人事関連について
　第５号議案　　令和５年度募集について
　第６号議案　　公開資料について
　第７号議案　　役員賠償責任保険について
　第８号議案　　内部監査報告について
　第９号議案　　町田サレジオ幼稚園　園則変更について
　第１０号議案　サレジオ小学校・中学校　学則変更について
　第１１号議案　その他の重要事項及び報告

令和４年１２月５日（月）　　午後３時００分から
出席理事　７名　委任状出席理事　１名　出席監事　２名
　第１号議案　　理事・監事・評議員の確認
　第２号議案　　補助金関連報告について
　第３号議案　　東京都　財政援助団体等監査の報告
　第４号議案　　人事関連について
　第５号議案　　令和４年度賞与等について
　第６号議案　　サレジオ工業高等専門学校　学則変更について
　第７号議案　　サレジオ工業高等専門学校　教務規則について
　第８号議案　　令和５年度募集状況について
　第９号議案　　稟議書について
　第１０号議案　その他の重要事項及び報告

令和５年３月２７日（月）　　午後３時３０分から
出席理事　８名　　出席監事　２名
　第１号議案　　令和４年度第１回補正予算案について
　第２号議案　　令和５年度事業計画について
　第３号議案　　令和５年度当初予算について
　第４号議案　　理事・評議員・校長の選任
　第５号議案　　令和５年度募集状況について
　第６号議案　　補助金関連報告について
　第７号議案　　稟議書について
　第８号議案　　人事関連について
　第９号議案　　目黒サレジオ幼稚園　園舎建て替えについて
　第１０号議案　監事監査報告書について
　第１１号議案　その他の重要事項及び報告

評議員会報告

令和４年５月２５日（水）　　午後３時３０分から

出席評議員　１３名　議決権行使委任状　５名　出席監事　２名

第１号議案　理事・監事・評議員の確認

第２号議案　令和３年度事業報告について

第３号議案　令和３年度決算報告について

第４号議案　令和３年度財産目録について

第５号議案　監事の監査報告

第６号議案　その他の重要事項及び報告

令和５年３月２７日（月）　　午後２時００分から

出席評議員　１７名　欠席評議員　１名　出席監事　２名

第１号議案　令和４年度第１回補正予算案について（意見徴収）

第２号議案　令和５年度事業計画について（意見徴収）

第３号議案　令和５年度当初予算案について（意見徴収）

第４号議案　その他の重要事項及び報告

【補助金報告等】

（１）補助金等関係報告

サレジオ工業高等専門学校

	補助金名称	交付団体	R4年度	R3年度	前年比	備考
1	経常費補助金	日本私立学校振興・共済事業団	119,726,000	108,330,000	11,396,000	
2	授業料等減免費交付金	日本私立学校振興・共済事業団	12,720,800	18,852,900	▲ 6,132,100	該当者の増減による
3	就学支援金事務費補助金	東京都生活文化スポーツ局	1,133,000	970,000	163,000	
4	結核予防費都費補助金	東京都福祉保健局	62,069	55,213	6,856	
5	授業料軽減助成金	東京都私学財団	41,118,433	36,410,200	4,708,233	該当者の増減による
6	子どもゆめ基金	国立青少年教育振興機構	301,093	192,110	108,983	
7	INPIT知財力開発支援事業	エーフォース	480,919	467,861	13,058	
		サレジオ工業高等専門学校　小計	175,542,314	165,278,284	10,264,030	

サレジオ中学校

	補助金名称	交付団体	R4年度	R3年度	前年比	備考
1	経常費補助金	東京都	59,688,100	57,330,600	2,357,500	
2	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	511,000	0	511,000	
3	国の節電プログラム参加特典	ＴＥＰＣＯ	200,000	0	200,000	国庫補助金
4	私立学校デジタル教育環境整備助成事業	東京都私学財団	0	1,575,000	▲ 1,575,000	
		サレジオ中学校　小計	60,399,100	58,905,600	1,493,500	

サレジオ小学校

	補助金名称	交付団体	R4年度	R3年度	前年比	備考
1	経常費補助金	東京都	58,673,300	60,663,700	▲ 1,990,400	
2	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	730,000	0	730,000	未収入金
3	私立学校デジタル教育環境整備助成事業	東京都私学財団	0	2,032,000	▲ 2,032,000	
		サレジオ小学校　小計	59,403,300	62,695,700	▲ 3,292,400	

目黒サレジオ幼稚園

	補助金名称	交付団体	R4年度	R3年度	前年比	備考
1	幼稚園教育体制支援事業費交付金	文部科学省	1,675,000	356,000	1,319,000	昨年度２月から実施補助金
2	経常費補助金	東京都	51,151,800	58,604,300	▲ 7,452,500	園児数減・クラス数減
3	私立幼稚園等教育体制支援事業費	東京都	553,000	0	553,000	上記１の１～３月分
4	私立幼稚園等環境整備費補助金	東京都	220,000	181,000	39,000	
5	預かり保育推進補助金	東京都	1,920,000	1,920,000	0	
6	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	805,000	0	805,000	今年度のみ実施
7	私立幼稚園教諭処遇改善費	目黒区	1,436,400	1,036,800	399,600	単価上昇
8	原材料価格等高騰対策給付金	目黒区	2,234,250	0	2,234,250	今年度のみ実施
9	新型コロナウイルス感染症対策補助金	目黒区	163,000	134,000	29,000	
10	目黒区保存樹木補助金	目黒区	50,000	50,000	0	
11	事務手数料（川崎市より）	川崎市	5,200	0	5,200	川崎市在園児有
		目黒サレジオ幼稚園　小計	60,213,650	62,282,100	▲ 2,068,450	

足立サレジオ幼稚園

	補助金名称	交付団体	R4年度	R3年度	前年比	備考
1	幼稚園教育体制支援事業費交付金	文部科学省	409,000	136,000	273,000	昨年度２月から実施補助金
2	経常費補助金	東京都	21,402,600	22,453,400	▲ 1,050,800	園児数減
3	私立幼稚園等教育体制支援事業費	東京都	159,000	0	159,000	上記１の１～３月分
4	私立幼稚園等環境整備費補助金	東京都	0	17,000	▲ 17,000	未申請
5	預かり保育推進補助金	東京都	1,470,000	1,710,000	▲ 240,000	利用者平均の減少
6	特別支援学校等経常費補助金	東京都	3,920,000	3,920,000	0	
7	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	102,000	0	102,000	今年度のみ実施
8	新型コロナウイルス感染症対策補助金	足立区	500,000	495,000	5,000	
9	安全管理経費補助金	足立区	33,000	33,000	0	
10	就園奨励事務費補助金	足立区	37,500	23,100	14,400	
11	私立幼稚園補助金	足立区	308,000	299,000	9,000	
12	物価高騰支援事業補助金	足立区	502,000	0	502,000	今年度のみ実施
13	私立幼稚園事務費補助金	川口市	2,000	2,000	0	
		足立サレジオ幼稚園　小計	28,845,100	29,088,500	▲ 243,400	

町田サレジオ幼稚園

	補助金名称	交付団体	R4年度	R3年度	前年比	備考
1	幼稚園教育体制支援事業費交付金	文部科学省	1,016,000	189,000	827,000	昨年度２月から実施補助金
2	経常費補助金	東京都	32,388,400	29,925,200	2,463,200	専任教員数増加による
3	私立幼稚園等教育体制支援事業費	東京都	358,000	0	358,000	上記１の１～３月分
4	私立幼稚園等環境整備費補助金	東京都	0	76,000	▲ 76,000	
5	預かり保育推進補助金	東京都	1,440,000	1,750,000	▲ 310,000	
6	特別支援学校等経常費補助金	東京都	2,352,000	2,352,000	0	
7	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	421,000	0	421,000	今年度のみ実施
8	新型コロナウイルス感染症対策補助金	町田市	633,000	266,252	366,748	
9	事務処理補助金	町田市	247,000	0	247,000	
10	日本スポーツ振興センター掛金補助	町田市	0	29,355	▲ 29,355	
11	物価高騰対策支援金	町田市	912,600	0	912,600	今年度のみ実施
12	町田市私立幼稚園等災害共済均等補助金	町田市	35,055	0	35,055	
13	障がい児通園促進事業補助金	町田市	3,262,500	507,500	2,755,000	
14	町田市私立幼稚園等幼児教育充実事業補助金	町田市	1,240,000	870,112	369,888	
		町田サレジオ幼稚園　小計	44,305,555	35,965,419	8,340,136	

受託事業（サレジオ工業高等専門学校）

	受託元	事業名	R4年度	R3年度	前年比	備考
1	株式会社　節句田	花活布活用研究費	70,000	70,000	0	
2	科学技術振興機構	さくらサイエンス	10,575,859	39,790	10,536,069	東ティモール・フィリピン
3	日本学術振興会	ひらめきサイエンス	289,419	0	289,419	
4	ＹＤＫテクノロジーズ	機械学習活用　共同研究	880,000	0	880,000	
			11,815,278	109,790	11,705,488	

（２）施設・設備関係報告

	事業所名	内容	金額
1	サレジオ工業高等専門学校	メディアセンター　仮想化基盤、新ＤＭＺスイッチ更改（機器）	14,889,600
2	サレジオ工業高等専門学校	メディアセンター　仮想化基盤、新ＤＭＺスイッチ更改（構築）	8,976,000
3	サレジオ工業高等専門学校	体育館　照明工事	4,655,377
4	サレジオ小学校・中学校	放送設備改修工事	4,565,000

（３）令和４年度課題研究費採択者一覧

1	自動運転レベル3車両における双方向走行システムの検討	¥ 345,000
2	〈麻薬〉と日本近現代文学に関する研究	¥ 350,000
3	生体情報計測および画像計測を用いた運転時理想姿勢の模索	¥ 345,000
4	周防大島における海洋情報観測ネットワークシステムの構築	¥ 345,000
5	阻止域減衰量を指定可能かつ通過域に平たん特性を有する阻止域の複数要素が可変なFIRフィルタの設計法	¥ 345,000
6	チタン合金の熱酸化過程における欠陥構造の分析は光学測定により可能か？	¥ 345,000
7	リン酸三カルシウム/ポリ乳酸複合材料の力学的特性に及ぼす延伸及び界面処理条件の影響	¥ 345,000
8	ＦＯセンサの実現に向けた基本周波数推定法の検討	¥ 195,000
9	マグナス効果を用いたポイント・アブソーバー型波力発電装置	¥ 345,000
10	日本語の推論能力と英語運用能力の相関関係調査及び現行英語プログラムの教育効果検討	¥ 327,750
11	非エルミート量子系のダイナミクスとエントロピー生成	¥ 345,000
12	双方向増幅器を用いたゲイン・スイッチの開発	¥ 345,000
13	低彩色背景下における色付き影の除去手法	¥ 125,000
14	残留磁化による雷電流の可視化	¥ 345,000
15	臨機応変な交通政策を可能にする現況再現性の高い道路リンクの交通量を推定する方法	¥ 345,000
16	交流的に使用する電池とコッククロフト-ウォルトン回路による電源容量向上、および実証試験	¥ 345,000
17	Background Oriented Schlieren法の高感度かつ境界層を含む密度分布測定に向けた実験装置の構築と測定装置に関する検討	¥ 345,000
	合計	5,482,750

２ 育英学院事業報告書

Ⅰ 理事長・理事会

Ⅰ. 事業計画

Ⅰ 常務理事中心のワーキンググループの運営

以下の案件について、ワーキンググループを継続して行っていく。このワーキンググループでは今年度は特に以下の点について重点的に取り組む。

1. 育英学院設置の学校・幼稚園において定員充足に向けての施策の検討

➡ 実施せず

2. 目黒サレジオ幼稚園の園舎建て替えについて検討

➡ 定期的にワーキンググループを中心に会議を実施。
理事会への報告を行った。

3. 足立サレジオ幼稚園の増築の検討

➡ 法人本部職員と足立サレジオ幼稚園の現場がオンライン会議等で情報共有を実施
常任理事会への報告および更なる検討を実施
可否を含めて法人本部と常任理事会が緊密に連携を取ることができた。

ワーキンググループで取り扱ったことは理事会の際に報告をし、理事会でより必要な検討を行う。

2　法人本部

事業計画

一般の方針

1．　内部監査のチーム編成と強化、監事との連携を図る（継続）

　内部監査と監事監査を同時期に行い、各事業所の準備負担の軽減を考慮する。また、監事のヒアリング時にスムーズな進行を行うために法人本部職員が同席をする。これにより、一層強固なチェック体制を設ける。また文部科学省調査時の指導より、実施前に監査計画を作成することを継続する。内部監査については監事監査のヒアリングと並行して書類監査を行う。また会計の監査のみならず、経営面や運営面の観点からの監査を模索する。なお、サレジオ高専の内部監査については、作業量が多いため監事監査とは別日にも複数日に渡って実施する。

➡今年度も監事監査と内部監査を連携して実施した。監事監査の新たな形を支援することを実現した一方で内部監査の量が減少したことが反省点である。次年度以降に新たな形を検討していきたい。

2．　規則・規程の見直しと改正を引き続き行う（継続）

　規則・規程は運営上、必要なものであるが、時代の流れに併せて、改正することが必須である。私学法改正に伴う寄附行為の改定は適宜行ってきているが、現行の規則・規程について、今年度も引き続き、昨年度未達であった規則・規程を全面的に見直し、必要に応じて改正を実施するように努力する。また必要に応じ、吟味した上で、新たに規程を制定することも検討する。

➡会計士からのヒアリングで、規則規程について整備状況の改善を促されたことにより、まず現状把握から進めていくことを確認した。今後、特に規則規程が多くなっているサレジオ工業高等専門学校を中心に担当職員と整理確認を行っていく。

3．　法人本部業務の強化のために

　法人内の事務経理のみならず様々な事務分野での技術力を高めるため、また最近の社会状況に乗り遅れることのないように法人部職員を研修会に積極的に参加するように促す。また研修会で得た情報を必要に応じて各学校の事務職員へと伝達する（継続）。

　また専任職員３名体制で行ってきた法人本部事務であったが、中長期的に安定した人事配置を行うために、幅広い年齢層の職員を確保していく必要が有る。直近として、２０２３年度以降に専任職員の補充が必要となる。

　法人本部強化のために経費の不足が見込まれる。そのため、以下の通り検討している。

➡２０２３年４月より専任職員の採用が決定した。また予定通り本部費の値上げについても行うことができた。人員増強に伴い、より一層各事業との連携のとれた法人本部を作り上げていくことが今後の課題となる。

本部負担金

	高専(800 人)	小中(170 人)	幼稚園(430 人)	前年度比（同数の場合）
令和２年度	20,000 円	20,000 円	18,000 円	-
令和３年度	25,000 円	20,000 円	20,000 円	（予定通り実施）
令和４年度	25,000 円	25,000 円	20,000 円	（予定通り実施）
令和５年度	25,000 円	25,000 円	25,000 円	+2,150,000 円
令和６年度	25,000 円	25,000 円	25,000 円	0 円

４　人件費

①　役員報酬及び理事長報酬は前年度と同じ処遇とする。

②　事務担当職員の賞与は、法人全体の月数を参考にする。

➡予定通り実施

５　その他具体的事業計画

・各事業所との連携

各事業所の校長・園長ならびに事務担当者等と緊密な連携をとり、互いに必要な情報の共有を行っていく。

➡法人本部職員が必要に応じて事業所訪問を行うことができた。今後は要件を整理して、事業所訪問を行う場合、オンライン会議を行う場合等、状況に応じた対応ができるようにしていく必要がある。

・各所でのヒアリングの実施

サレジオ修道会の学校として、アシステンツァの実践を行っていくために、各学校・幼稚園において、管理職ならびに教職員とのヒアリングを必要に応じて実施する。このヒアリングは、事業所における課題の早期発見と解決へ向けて法人本部が一体となって進めていくために行う。

➡今年度について、緊急性の高い案件については管理職との時間を設けたが、基本的には個人の面談は未実施であった。

【ヒアリングの具体的計画】

事業所側	法人側
サレジオ高専	
副校長・事務長	常務理事
学科長・課長	法人本部職員
その他希望者	法人本部職員

サレジオ小学校・中学校	
教頭	常務理事
その他希望者	法人本部職員
目黒サレジオ幼稚園	
希望者	法人本部職員
足立サレジオ幼稚園	
園長・副園長	法人本部職員
その他希望者	法人本部職員
町田サレジオ幼稚園	
園長	常務理事
その他希望者	法人本部職員

※　ヒアリングは、基本的には専任教職員に限るものとする。

６　東京都財政援助団体等監査の実施

東京都監査事務局による財政援助団体等監査を以下の日程で行われた。

日　時：令和４年１０月６日、７日（２日間）
場　所：サレジオ小学校・中学校
内　容：補助金交付団体等に対する財政援助団体等監査は、都が財政的援助を行っている事業が、補助等の目的に沿って適正で有効かつ効率的に執行されているか、当該団体に対する指導監督は適切に行われているかを主眼として実施する監査
対　象：令和２年度、令和３年度　２か年分書類監査
監査人：東京都監査局　監査人２名

3　サレジオ工業高等専門学校

令和４年度　教育研究計画の概要

校長目標は「選ばれるサレジオ高専」を強く意識し、本校の価値や魅力を向上させることによって安定して定員数を確保するための取り組みを実施し、ICT 教育環境をさらに充実させ Society5.0 の到来を意識した技術教育に取り組みます。

令和４年度　重点施策

（１）教育・研究力の強化（魅力的な学生を育てる）

<1>　教職員によるアシステンツァの実践強化

学生や保護者との関わり方を学ぶ機会を設け、授業、クラス運営や課外活動など学生の学校生活のさまざまな場面で学生とその保護者との間に信頼関係を築くことができるように教職員自身が成長する経験を積むことができました。

<2>　退学者の減少

増加した退学者の数を減少させます。2021 年度は 26 人でした。当年度が 20 名でしたので、2023 年度はさらなる減少を目指して学内での取り組みを進めていきます。

<3>　教育の質保証と向上

７年ごとに文科省が行う機関別認証評価を受審し、2023 年３月に審査結果の通知を受けました。結果は合格ということで、本校の教育活動が文部科学省の求める基準に達していることが明確になりました。

（２）社会貢献力の強化（信頼を集める学校）

<1>　地域社会との連携

募集活動の一環としてこれまでのように小中学校から特別授業の依頼を受けると教員を派遣しました。町田市小山地区の町内会、商栄会、商工会議所との交流活動や八王子市の「いちょう塾」の講座を継続し、また相模原市・座間市の主催する市民大学の講座へも協力することや学校施設の市民開放を進め、地域市民に対する文化拠点となるようにしました。

<2>　産学連携の推進

大学コンソーシアム八王子を通じて八王子市以外の市に対する地域交流をさらに積極的に推進し、地域に立地する企業や自治体との交流・連携を密にし、社会実装教育を念頭においた連携を強化して、本高専の地域における貢献度をあげる取り組みが実現できました。

<3>　学校広報の推進

学校広報を通じて学内にある施設を開放し、本校が地域、企業との交流の場となるようにしました。また継続してホームページの有用性を広げ、コンテンツの充実を図りました。またウェブネットワークを通じて企業や地域社会だけでなく卒業生とも広くコミュニケーションをとることで本校のプレゼンスを高めるよう取り組みました。

（３）経営力の強化（継続的に発展する学校になる）

<1>　教職員の業務遂行能力の向上

SD（Staff Development）システムを運用し、必要に応じて研修を実施しました。研修だけでなくさまざまな部署での業務の質向上、必要とされる能力の開発、向上のための取り組みを行いました。しかし昨年度実施されなかった SMS（サレジオ・マネジメントシステム）の見直しと再構築は実施できませんでした。

<2>　受験者数の増加

令和４年度生募集では 151 名の入学者になりました。定員確保ができませんでした。昨年度実施された募集活動の反省をもとに 2023 年度の取り組みを構築します。継続的な定員確保のために様々な工夫と努力をそれぞれの学科が実行し、来年度は 180 名定員獲得のチャレンジを行います。在籍者数 900 名を目指します。

<3>　財務計画

大規模修繕の計画を進める中、本校には修繕費を含む内部留保資産の積み上げが薄いことが大きな問題であることは強く認識しています。現在の３年生、５年生さらには１年生が定員に到達していないことがあり、内部留保資金の積み上げができませんでした。来年度は、弾力的な資金運用とムダの削減にこれまで以上に意識的に取り組み、入学者を増加させ、補助金の獲得に力を入れて、内部留保資金を確保したいと思います。

（４）特記事項：サレジオミッションの実践

<1>　司牧目標

サレジオ会の教育方針の基盤であるキリスト教的価値観を浸透させ、それに基づくドン・ボスコの精神の実践を強化するため以下のことを実施しました。

・月２回のチャプレン訓話
・モーニングトーク
・月例ミサ、チャペルの開放
・掲示板を活用した啓発

4　サレジオ小学校・中学校

Ⅰ．令和４年度教育目標

「なにごとも愛をもって行おう！」（2022 年サレジオ家族年間指針）

サレジオの霊性、サレジアン・スピリットを深める。特にその元となった、今年帰天 400 周年を迎える聖フランシスコ・サレジオの謙遜と柔和に倣う。コロナ禍にあって、児童生徒が他学年間で触れ合う機会が激減している。特に小学生に顕著である。このことは、子どもたちの心の成長にとって大変なマイナス要因になっていると思われる。

これを踏まえ、対人関係において、聖フランシスコ・サレジオの謙遜と柔和にならい、自分をよく知り、自分が自分がという衝動を抑え、自らが多少損をしても人にやさしく接することを目指していきたい。

➡いつもいつも思った通りになるわけではないが、学校活動全体において周囲の人とのサレジオ的な関わり方を大切にすることを意識しながら、これからも学校生活を送っていきたい。

司牧部

ミニ集会や練成会などの信者・関係者の集まり、クリスマス劇、ミニ巡礼などをできる限り実施していきたい。道徳・倫理の授業、各行事を通して、どんなときにも神と人に信頼を寄せ、前向きで積極的な姿勢を持つように児童生徒を育んでいきたい。

➡ミニ集会２回、練成会１回、ミニ巡礼１回を実施。クリスマスでは通常の劇ではなく、映像を投影した。

１．密を避けるため学年単位で聖堂（サレジオ学園内）を利用する機会を作る。

➡学年単位で聖堂を利用することはなかった。

２．掲示板等に、聖句やサレジオ会的すすめなどを掲示する。

➡聖句などの掲示はあったが、量や頻度を増やしたり、掲示の仕方を工夫する。

Ⅱ．令和４年度重点課題

１．ICT 教育環境の整備促進

１　令和４年度、小中ともに１人１台端末環境を実現するため、各教員用端末・予備端末・デジタル教科書などのソフトウェア・モニターなどの周辺機器の整備を進める。

➡教員用端末は整備実施。一人一台端末整備は令和５年度からとなる。

２　①と、そのランニングコストを考慮し、令和５年度に授業料の値上げをしたい。

➡施設設備費の値上げ実施できるよう諸手続を行い、次年度から実施となる。

３　授業での PC 端末活用に向けて教員の学びを促進する。

➡小中の担当教員が中心となって進めている。

２．募集活動

在籍数

小学校	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	合計
令和３年度末	１６	１５	１９	１６	２２	１８	１０６
令和４年度末	１５	１６	１４	１９	１６	２２	１０２

中学校	１年生	２年生	３年生	合計
令和３年度末	２１	２３	２４	６８
令和４年度末	２８	２１	２３	７２

小学校

学校説明会を増やす（2 回～4 回）➡実施

小金井市子育て冊子広告➡実施

中央線沿線私立小学校合同相談会➡参加

東京都私立小学校展➡参加

幼児教室向け学校説明会➡実施できず。

中学校

学校説明会（3 回）➡実施

東京都私立中高連盟第１１支部合同相談会➡参加

東京都私立学校展➡参加

➡説明会は小中とも全体的に例年並み、あるいはそれ以上の参加者があった。

小中共通

位置情報データをもとにした広告配信サービス➡実施

小金井市市報広告➡実施

教会・ミッション系幼稚園・保育園・小学校への働きかけを促進する。

➡充分ではなかった。

サレジオ会日本管区の諸活動の中で本校を紹介してもらう。

➡その他、国分寺、小平のコミュニティーバス時刻表への広告。

定員充足を目指して、本校の長所を生かしながら、新たなアピールポイントを模索していく。

　ユニバーサルデザインの視点を学級経営や授業に生かしていく。たとえば、注目を促す工夫、不必要な情報を遮断するなど。

➡合理的配慮が必要な生徒・保護者からの希望（例：授業中にタブレットを使用する）に、柔軟に対応した。（中学校）

３．感染症対策

① 児童生徒・教職員ともに、毎日の健康観察票の記入と月末の提出、マスクの着用、手洗い・手指消毒の励行、換気など、日々の対策を怠ることなく実施する。

➡適切に実施できた。

② 体育科・音楽科・理科実験などにおいては感染症対策を取りながら注意深く実施する。家庭科（調理実習）は文科省や東京都の指示を参考にしながら実施できるときを待つ

➡各教科において、工夫しながら実施できることが増えていった。

③ 各行事は、できる限り中止ではなく、できる範囲で、工夫しながら実施していく。

➡中止の行事もあった。大きな行事は、小中別々や短縮・縮小を余儀なくされた。

④ 来校者には、手指消毒・検温・本人と同居家族の体調記入をお願いする。➡実施

⑤ 校内に感染者が出た場合は、保健所のアドバイスを仰ぎながら、学級閉鎖や臨時休業などを学校として判断していく。

➡保健所への相談はほぼなくなった。中学校の学級閉鎖が一度あり。

Ⅲ．人事

小学校

全　　科　　益子　大（教諭）➡６月で退職。９月より新規採用。

中学校

役職就任	池袋裕二（教頭）
	日髙貴寿（指導教諭）➡10 月末から休職し、３月末で退職。
国語科	吉田綾太（教諭）
保健体育科	野村康馬（教諭）
技術科	竹下尚克（非常勤講師）

Ⅳ．主な工事・修繕などの予定

１．パソコン教室の整備、一人一台端末に向けた教員用ＰＣ 整備、中学教室などのモニター設置➡教員授業用 PC 整備済。他は令和５年度へ。

２．樹木管理（長期的に）➡実施

Ⅴ．その他

１．カウンセリング

毎週水曜日にスクールカウンセラー、あるいはスクールソーシャルワーカーの相談日を設ける。担任との連携をさらに深めるための時間を確保する。必要であれば家庭訪問も行う。

➡実施。家庭や自身の問題を抱えている児童生徒もいるが、学校全体としては、落ち着いてきている感はある。

２．ペーパーレス化

ＳＤＧｓを意識しながら、可能な部分でデジタル化を進めていく。

➡意識は強まっている。

３．中学校部活

バレー部、球技部、美術部、オルガン部、サッカー部（休部中）の４（５）部を置く。学校外のクラブとの兼部可。

➡サッカー部の活動が再開し、新たに軽音楽部が発足した。

5　目黒サレジオ幼稚園

サレジオ家族　年間目標（Strenna　2022）

「強いられてするのではなく、なにごとも愛によって行おう」

Ⅰ．教育方針

【園のことば】　きよいこころ　げんきなこども

（1）教育目標

・キリスト教の価値観と創立者ドン・ボスコの教育理念に基づき、自然豊かな広い園庭を中心とした環境と暖かい家庭的雰囲気の中で、のびのびとした活動を通して子どもたちの心の教育に力を入れる。

・ドン・ボスコの教育理念である「愛情（信頼）」「理性（納得）」「宗教（祈り）」を根本にして、家庭との密接な連携を通して子どもたちの成長に寄り添う。

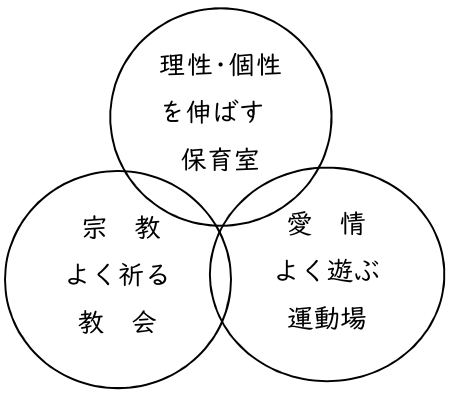
・幼児自身が愛されている体験を通して自ら神と人を愛する心を身に着け、豊かな品性と国際的素養を身に付け円満な人格形成を目指し、誠実な社会人になるように育成する。

＝学年のねらい＝

＜すみれ＞	（３歳児）	様々な環境に慣れ、園生活を楽しむ。
＜ゆ　り＞	（４歳児）	集団生活に必要な態度を身に付ける。 互いの気持ちを伝え合いながら友達と関わる。
＜ば　ら＞	（５歳児）	状況の判断力を養う。感謝と思いやりの心を育む。 好奇心を持ち、何事にも意欲的に取り組む。

(2) ドン・ボスコの教育の要約

子どもを教育するには、しっかり組み合わせた輪のような３つの場所が必要である。



----- 具体的にドン・ボスコの教育における宗教教育を実践するために
以下のようなことに取り組んでいく。

① 日常の保育の中でのお祈り、シスターによる宗教の時間
② 行事の中で：聖母祭、クリスマス会、創立者ドン・ボスコのお祝いなど
③ 保護者の希望者に向けて園長による月２回の聖書と祈りの集い、Sr.大澤の要理を行う。

（3）教師（保育者）のあり方

１．園の教育理念を深め、共通理解のもとに保育に取り組む。

２．一人一人の園児に積極的に関わり、子どもの状況をよく把握する。

３．子どもたちがのびのびと活躍できるような環境の整備を心がける。

４．思いやりの心とけじめのある態度を、教師自らが手本となって示す。

５．職員・園児・父母の相互間の報告、連絡、相談を密にし、常に反省する姿勢を持つ。

６．月１回、サレジオ会司祭から要理教育についての研修を受け、カトリックの精神を身に付ける。（令和４年度は、サレジオ教職員向けのオンライン講話を予定）

⇒コロナ禍の状況を踏まえつつ、子どもたちの豊かな体験のために出来る限りの行事を行い、また状況に合わせた保育環境の充実を図ることができた。保護者との情報共有も徹底し、相互理解をより円滑に行うことができた。職員のカトリック研修については年間３回の実施にとどまった。

（４）　家　庭

１．年頭、また参観などの機会に、教育理念を全保護者に伝える。

２．家庭教育・幼稚園教育の大切さを理解して頂くよう、機会ある毎にお願いする。

（家庭と幼稚園の教育観の一致、協力のお願い。－公共ルールや、躾など－）

３．親自身が子どものお手本になるよう心掛けていただく。

⇒教育理念、教育方針について発信する機会はオンラインも活用しながら定期的かつ充分に実施できた。保護者のカトリック園への理解は深まっていると感じる。

（５）　運営・経営における時代のニーズへの対応

子育て支援の強化

１．保育時間・預かり保育時間の延長等

平成２９（２０１７）年度以降、保育時間の延長、預かり保育の最長１８時までの延長に加え、令和３（２０２１）年度には新たに夏期預かり保育も実施し、保護者のニーズに応え様々な保育時間延長の対応をしてきた。令和４（２０２２）年度もこの方針を継続していく。

⇒預かり保育においては１８時までの長い預かりのニーズが年々高まってきている。スペースの確保などの課題に取り組む必要も感じた。夏期預かり保育も改善を加えて一定の成果は出たが、実施方法や実施期間など更なる改善の余地があると感じた。

２．注文弁当サービス、夏期預かり保育、体操教室等、令和３年度に新しく行った取り組みをさらに継続させ、必要な改善を施す。

⇒課外体操教室は活動の継続に加えて業者からのスタッフ充実の改善もあり、良い成果を残した。次年度はさらに活動日を増やしていく予定。また他の課外活動

の可能性も検討していく予定。

3．アプリを用いた保護者と園との相互連絡ツールを最大限に活用していく。また、会費等の徴収を現金扱いからアプリを活用した口座引き落としに変更する等の変更を通して保護者負担軽減の対策を行う。

⇒保育料、諸会費の徴収について、アプリを通じての引き落としに変更したことは保護者からとても便利になったと評価された。また、職員もアプリについての学びを継続的に行うことで多方面でのより良い活用につながった。

4．保護者負担の軽減につながる行事の見直し等を継続的に行っていく。

⇒保護者主催の行事であるバザーについてコロナ前から大きな負担の見直しが課題となってきたが、コロナ禍を通して新たな可能性を検討し、バザーとは異なる形での保護者行事の実施を実現し、保護者負担の大きな軽減につながった。

募集対策

1．魅力ある園生活をアピールするため、上に挙げたような子育て支援を意識した取り組みをさらに継続させ、必要な改善を施す。

⇒実施できた。

2．小学校受験を検討する保護者にも意識を向け、隣接する目黒星美学園小学校との連携、協力を模索していく。

⇒目黒星美小の入試広報の先生と打ち合わせを継続して行うことができ、1月に星美の先生が幼稚園保護者対象に教育講話を行った。

3．入園面接や発表、手続きの方法など、必要な改善を施していく。

⇒方法については大きな変更は行わなかったが、近隣の他園のやり方や取り組みなどを参考にしながら今後の検討のヒントになる情報を多く得られた。

4．HP も契約更新のタイミングに来ているので、より時代に合わせた魅力的なページ作りに取り組み、PR を強化していく。

⇒HP リニューアルに向けて動き出した。よりよい紙面作りのアイデアをまとめたが、実際の作業が進まなかった。

施設設備関係

1．施設の老朽化が加速し、安全面での不安がある為、営繕の職員が常に園内を巡回し、早急な対応をしている。教職員一同綿密に連携をとり、引き続き園児の安全に努めていく。

⇒ある程度は実施できたが、施設の老朽化は至るところに顕在化しており、根本的な対応が急務であると感じる。

2．令和3年度は2階保育室の各部屋に空調機を増設し、夏の暑さに対応した。また痛みの激しかった2階保育室の木製床面を安全なフローリング床に張り直し、園児の安全により配慮した。

３．令和４年度は、改善された wifi 環境をより活用し、昨年度実現できなかったインターネットを活用した音響設備等の充実を図りたい。

⇒wifi 環境を年々改善し整えているが、ようやく職員全体にネットの有効活用の雰囲気が作られてきたと感じる。一方で、音響面での活用は個人レベルにとどまった。

職員の働き方、質の向上

１．この数年、コロナ禍においても最大限の配慮をしながら職員の働き方の改善に努めてきた。今年度も継続してこの取り組みをしていきたい。

⇒コロナの影響がありながらも職員間での協力体制を工夫し、働き方の質は保ちながら園の業務を行うことができた。

２．昨年度に引き続き、幼児教育現場の質の向上、教員の意識のさらなる向上を求め、研修の機会を活用する。特に、障がいを持つ子どもの指導方法、関わり方についての研修を通して、時代のニーズに合わせた保育の在り方を模索していく。

⇒オンラインでの研修は充実していた。

３．危機管理対策の意識を高め、防災、防犯についてのマニュアル作成だけでなく、実践的体験的にも学べるように研修の機会を設ける。

⇒地元の警察署に協力を要請し、防犯訓練の実施など継続的に取り組むことができた。

Ⅱ．財務関係予算方針

[基本方針案]

園舎建て替え計画

園舎の建替え計画を具体的に進めていく。本部と連携して頻繁な会合を実施していく。

合わせて、今後の幼稚園運営の在り方についても引き続き検討を重ね、サレジオ修道会と連携し計画を作成していきたい。

⇒本部主導のもと、計画は着実に進んでいると認識している。今後はより具体的な計画も含めて検討が進められるように努めていきたい。

地方公共団体補助金

東京都補助金、預かり保育補助金ともに、前年度と同額を計上する。

⇒コロナ禍における特別補助の申請も積極的に行った。

経費について

１．人件費については、加配が必要な園児も増えている為、補助の教員を必要に応じ配置している、今年度も必要な経費を計上する。

⇒補助教員、職員の都合による途中退職があったが、その都度補助教員、職員の補充に務めた。

２．令和３年度は、コロナウイルス感染対策に消耗品等の支出が増えた為、令和４年度も引き続き必要と思われる経費を計上する。

⇒感染対策に関する消耗品の経費は昨年度に比べて軽減された。また上に挙げたように各種補助金の申請も積極的に行った。

３．引き続き、修繕が必要な箇所が多くあると見込まれ、必要な経費を計上する。

⇒園児の安全確保のための修繕は常に必要な状況になっている。

6　足立サレジオ幼稚園

Ⅰ　教育目標

1．サレジオ会の事業として、ドン・ボスコの教育法の三本柱である「宗教・愛情・納得」の実践に励む。

①　宗教、道徳教育に力を入れる。

・本年のサレジオ 会のストレンナ（年間目標）が「Do all through Love（すべてに愛をこめて―試訳―）」なので、この目標を幼児に理解できる言葉に置き換えて、保育において実践する。

・神さまの存在を信じられるように、教会でのお祈りやお話の中で導く。

⇒コロナ感染症のために分散形式ではあったが教会の聖堂で実施できた。

②　常に子どもに寄り添い、愛情に満ちた指導をする（アッシステンツァの精神）

・愛され、大事にされている実感が子どもに伝わるようにかかわる。（優しい言葉かけ、穏やかな振る舞い、優しい視線など）

⇒日々の保育において実践できた。

③　子どもが納得できる導き、かかわりを行う（納得に基づく導き）。

・子どもの話・言い分をよく聞き（理屈に合わなかったとしても）、状況を把握して、子どもの納得が得られるように、分かり易く、優しく導く。（子どもなりの考え方に一定の配慮をする）

⇒子どもの話を辛抱強く聞いて導いた。

④　感動できる子どもに導く。

・神さまが造られた宇宙や大自然の美しさ、素晴らしさを味わえるように導き、その大自然が人間の活動によって傷つけられている現実に気づき、自然を大事にする気持ちを育てる。（野菜などを植え、育て、収穫し、実りを味わう事を通して）

⇒特に夏場に野菜や果物などの栽培で自然の大切さを実感していた。

⑤　自分の気持ちや考えを他人に上手に伝えられる子どもを育てる。

・場面に応じた適切な言葉遣いを教える。

・集団生活に馴染むための力を養う。

・挨拶ができるようにする。

⇒その場にふさわしい言葉遣いをことあるごとに教えた。

2．教職員に資質の一層の向上を目指し、保育内容の充実を図る。

①　全職員が建学の精神、教育目標を心に刻む。

・カトリックの価値観を知り、実践する。サレジオの精神を知り実践する。

・そのための資料を作り、伝える。

⇒実践した。

②　発達障害、あるいはその線上にいる子どもの指導方法、評価法を研究し実践する。

・障がいを持つ子がその障がいのゆえに子どもたちの中で疎外されたり、苦しむことのないよう、子どもたちの理解が進むように工夫する。
・サポート機関の評価を通して職員のアプローチの方法を工夫し、当該児が安心して園で生活できるように研究し実践する。
・障がいを持つ子に関する外部研修に参加し、報告等を通じて園内での共通認識とする。

⇒夏期休暇中やその他の日に個人的に障害についての研修を受けた。また、大学の臨床心理の先生からオンラインで発達障害についての対処法を学んだ。

③ 内外の研修会に積極的に参加する。
・園長による職員向けの講話を実施する。学期初めの職員会議等で年三回は実施する。
・保育に関する研修は特に夏の長期休業等時に受講する。
・サレジオ会学校連合会主催の新任研修に参加する。
・サレジオ会家族教職員養成講座に参加する（オンライン・直接参加)。

⇒サレジオの教育については夏に職員二名が参加したが、それ以外では少なかった。

④ 教職員の保育後の仕事内容を見直し、効率化を図る。
・一昨年度末よりバス運転手兼用務員を採用したが、まだ保育後の改善には至っていないので、もう少し工夫していきたい。
・職員の業務効率化の為に「レーザーキッズ」を導入し活用する。
・PC の台数を増やし、業務効率化を図る。

⇒保育後の清掃についてシルバー人材を利用して負担を軽減したが、思うようには軽減できていない。もう少し工夫が必要である。

⑤ 打ち合わせについて
・相互の理解と連携の為に、報告・連絡・相談（報連相）を各自が徹底して行う。
・保育実施の内容が午後の打ち合わせできめ細やかに報告相談されているので、それを上手に活用する工夫を続ける。
・打ち合わせの司会を職員の輪番制とし、話し方、まとめ方を互いに研鑽する。

⇒職員の意見により、打ち合わせの時間を短くし必要な連絡事項のみに絞った。他の個別の話については担当者間で話合うことにした。

3. 保育内容

① 日常保育
・引き続き新型コロナ感染症への感染防止対策として、ソーシャルディスタンスの確保、飛沫感染防止のためにマスクの着用（屋外では一部解除)、手指消毒、おもちゃなどの消毒、触れる機会の多い場所の消毒に努める。

⇒基本的な感染対策を実施して感染者の減少に努めた。そのため感染による休園はほとんど起こらなかった。

・各年齢の発達支援においては、子どもの特性を考慮して対応し、過度の要求は慎む。

⇒実践できた。

・火災・地震・風水害に備えてマニュアルを作成し、日頃の避難訓練は具体的訓練目標を立てて、意識して行う。

⇒水害についての対策の骨子を作成し当局に提出した。

② 行事

・昨年度は新型コロナウィルス感染症の影響で、大部分の全体行事が分散実施せざるを得なかった。今年度も感染症の影響はまだ続く様子なので、国・自治体の指導に則って、工夫して保育活動を行っていきたい。

・行事の意味、目的が当該の子どもの保育に適したものであるかを、常に点検する。

・これまで二月に行っていたサレジオ発表会はクリスマス会とドッキングさせて12月に実施する。理由として、二月はインフルエンザなどが流行する時期なので全体を動かす行事に不向きなため。

・行事ごとの反省を行い、記録し、常に改善する。同じ行事であっても毎年新しい工夫を加える。

⇒行事の実施に当たっては保護者に丁寧に説明して実行した。

③ 縦割り保育（異年齢交流保育）を充実させる。

・縦割り保育は自他の区別や互いを思いやる情操に大変有効なので、年間を通して実施していきたい。

・子どもたちも楽しみにしている。

・新型コロナ感染症のために昨年度はあまり実施できなかったが、園庭での交流は実施できそうなので、できる部分で行っていきたい。

・大きな行事に左右されにくい火曜日などに実施していく。

⇒できるだけの日数を実施した。子どもたちも喜んで参加していた。

④ 預かり保育の実施

・現在、幼稚園や保育園に対する社会の要請は、仕事を持つ保護者の子どもの保育をできるだけ長く行うことである。その是非はともかくとして、幼稚園の経営に当たってはその点を考慮したものにしなければ、健全な経営ができない。

・預かり保育の時間を通常保育の日には、保育時間終了後 14:30 から最長 17：30 まで実施する。

・長期休業中の預かり保育は、春休み、夏休み、冬休み共に 9：00 から 14：00 まで実施する。11 時 30 分の降園保育の日にはその後は通常の預かり（有料）保育として 17 時 30 分まで行う。

・保護者のニーズに応えるために、預かり保育の時間を延長することも検討し、実現したい。

⇒確実に実行した。

⑤ 園児募集に一層力を注ぐ。

・未就園児のクラス（ひよこ組・いちごクラブ）を行うことによって次年度の年少クラスの園児募集に大きな成果が出ていることを踏まえ、今年度も重点的に実施していきたい。

・今年度の未就園児クラスに人数が少ないので、ＨＰなどをより充実させて、楽しく安心して預けられる幼稚園であることをアピールする。また昨年度末には、来年度の未就園児がとても少ないので、ポスターなどの掲示に協力してくださいと保護者にお願いしたところ多く方が協力してくれたので、同様のお願いを今年も行っていきたい。

・ひよこ組（三歳児クラス）の実施日数を週三日（母子分離型２日、親子参加型１日）行う。

・０歳から２歳児親子の参加対象の「いちごクラブ」を月二回程度実施する。

⇒未就園児クラスに喜んで参加してくれていた。令和６年度の年少組の数が少なく心配である。

Ⅱ　設備ならびに財務関係予算方針

１．職員の確保

・昨年度は確保予定の職員が全く採用できなかった。そのため今年度は保育補助をお願いしている２名の職員（幼稚園教諭免許あり）に本務職員になってもらいクラス担当などを確保した。今年度ははじめから職員確保に取り組みたい。

・就職してから長く勤めることができる職場環境を目指す。

・預かり保育の延長や未就園児クラスの充実、さらに職員が安心して有給休暇を取得できるためにはあと数名の職員が必要である。

⇒元実習生が求人に応募してくれ、新卒採用が１名できた。またアルバイト学生を利用することも視野に入れていきたい。

２．保育材料・機材の確保

・おもちゃなども古くなっているので、できるものから入れ替えていく。

・図書なども古いものが多いので、最近の情報が入っている図鑑などを購入し保育に活用する。

⇒入れ替えに努めた。

・HP を利用しての園児募集に力を入れるために、内容の一層の充実に努める。

⇒ホームページ制作者とコンタクトを取り、計画を始めた。

３．環境整備

・夏場になると蚊が発生して園児の健康衛生に影響が出るので、（保護者からも対応を願われている）対策を強化する。具体的には蚊取り線香を増設し、殺虫剤で駆除を強化し、区役所に相談する（近隣地に空き家・空き地あり）

⇒蚊取り線香容器を新しくし駆除に努めた。

・未就園児クラスを充実させ、園児の入園数を増加安定させるためにはあと一クラス分の部屋がどうしても必要である。幼稚園の現在の敷地で増設可能な場所があるか、どのようにしたら増設できるか、その部屋の必要な設備は何かなど早急に詰めていき、設計、資金などの目途を立てたい。

⇒法人本部と相談し、計画を軌道に乗せた。来年度初めから動くことになった。

Ⅲ　その他

１．職員の働き方の改善

・有給休暇の消化増を図る。

・夏休み、冬休みに有給休暇の消化を促す。（五日間は義務消化）

⇒有給休暇の消化の実施を職員に呼びかけ、次年度からは夏期休暇の自宅研修、自宅待機制度をやめることにつながった。

２．教育経営の評価実施と報告書の作成

・保育参観の実施。これは昨今のコロナ感染症の為に減ってきているが、保護者はで　きるだけ実施してほしいとの希望（アンケート調査）を出しているので、工夫をして前向きに取り組みたい。実際に目で確かめたいとの保護者の気持ちの表れであろう。

・監事監査の実施

・内部監査の実施

⇒それぞれ実施できた

３．園児募集について

・少子化の為、幼稚園該当の年齢児が急速に減少している。その一方で保育園の増設が相次ぎ、足立区内のどの幼稚園も定員割れを起こしている。令和３年度には電信柱広告を導入したが、入園者数に反映されている様子はない。どのようにしたら良いか園外のアドバイスを受けたい。

⇒模索中である。三歳未満児のために保育室の増設を決めた。

7　町田サレジオ幼稚園

サレジオ家族　年間目標（Strenna　2022）
「なにごとも愛によって行おう」
町田サレジオ幼稚園　年間目標
愛されていることを実感できる教育を行おう

Ⅰ．教育目標

創立者ドン・ボスコの教育理念である　愛情(信頼)･道理(納得)信仰(祈り)を基本とし、家庭と密接に協力しながら種々の経験を通して生きる力を育む。
南多摩の自然に囲まれた環境の中で明るくのびのびと活動し明るい心、親切な心、素直で正直な心を育てる。
幼児自身が愛されている体験を通して自ら神と人を愛する心、豊かな品性と国際的素養を身に付け円満な人格形成を目指す。

1．隣接する小山内裏公園や白山公園、広くて安全な園庭での戸外遊びを通して自然とふれあい、からだを使って健康に過ごす。
2．異年齢間の交流を多く持ち、年長者は年下をいたわる心、手本になれるように行動する心、年少者は年上への憧れから挑戦しようとする心を育てる。
3．発達が遅く、ケアの必要な数名の園児への対応とその他の園児のケアのバランスを考え、サポート体制を整える。

※３については必要に応じて、サポート体制をとる。なお、サポートの必要な園児については専門機関（島田療育センター、町田市発達支援センター、相模原市発達支援センター、相模原市協同病院、横浜子ども病院、リタリコ民間の発達支援センターなど）との連携を取りながら教育を行う。

保育内容他

１．行事

・職員間の係分担を明確にし、それとともにわからないことは教えあい経験の浅い職員へのサポート体制をしっかりととる。
・行事ごとに目的、手立て、流れ等の評価、反省をし、マンネリにならずかつ良いところは継続し次の活動に生かす。(行事の数、進め方、制作の見直し等)
⇒教員会議を重ね新人へのサポート、行事等の再検討を行った。

２．情報発信

・保育の中で生き生きとして活動する子供たちの様子を今まで以上に保護者のみならず多くの人にホームページやブログにて発信する。
⇒教員が園児の活動内容についてブログの更新を頻繁に行った又レーザーキッズ（園務効

率化アプリ）の導入により園児管理、出欠管理、預り管理等保護者との連絡事項の管理等に係る事務の効率化が図れた。

① 宗教

・常に神様に守られていることを実感し、神様と人に感謝する心を養う

⇒サレジオ会修道士による宗教講座を実施した。

② SDGｓへの取り組み（2020 年度私立学校研究助成事業にて報告済）

・年長組を中心に年間を通してひき続き活動する。

・食ごみからの堆肥→畑→野菜栽培（ミミズによる食べカスからの土壌つくり）

・ごみ講座を受ける（町田市環境資源部３R 推進課に依頼）

・デフリンピック選手との交流（聾の方との交流）

⇒上記事業は予定通り実施しその他下記の事項も実施した

・冷房の省エネ化と植物観察を兼ねてゴーヤで緑のカーテンを作り直射日光を遮る。

おにぎり献金（世界の子どもの飢餓について知り食べるものを無駄にしない。）

省エネに勤める（水道の出しっぱなしに気を付ける、こまめな消灯）

＜継続事項　新型コロナ感染症への感染対策として＞

※ 検温の徹底（検温表記入は自宅　昼食前に全員検温）

※ 飛沫感染防止の為にマスクの着用

※ 手指消毒

※ 遊具や保育室および共有箇所（トイレ、手洗い場、階段、玄関等）清掃の徹底

※ 適切な換気

⇒予定どおり実施

―　募集に関して　―

園則の定員を確保することが目標であり２０２２年度も３歳児６０名の募集活動を展開する予定ではあるが、２０１９年１０月からの保育の無償化以降、年を追うごとに「満３歳児」の受け入れが町田市、八王子市、相模原市周辺地域の主流となっている状況を鑑み、態勢を整えて、未就園児クラスとの関連性を含みながら「満３歳児」受け入れのために定員の再構築を検討する。

本園の教育の信頼度、知名度を上げるための具体的な広報活動を行う。周囲の幼稚園の情報、地域の情報、在園する園児の父母たちからの情報（アンケート）を収集し、ニーズを把握し、サレジオらしさを大切にしながら地域に根ざした幼稚園を目指す。

未就園児はプレクラス（親子分離）としてのこばと組週２回のクラスを２クラス例年通り行う。同年齢でのペンギン組（週１回の親子クラス）も入園希望者の多様なニーズの受け皿として行う。カンガルー広場（保育室開放）は月曜日以外毎日開設。地域の子育ての支援としていろいろなバリエーションのある教室を開き参加人数の増加に取り組み、より早い段階で幼稚園を知り本園への興味や関心を持ってもらう。（０歳、１歳）

募集活動の総括

２０２３年度の募集活動で３歳児は前年度２０名減となり全園児の総数は１０名減で

２０２３年度は１１０名のスタートとなる。
５月１日の２０２３年度学校基本調査基準日には満３歳児と途中入園児の合計で１１６名
町田市の教育充実補助金対象の２０２３年１０月の起算日までには満３歳１０名定員のうち当初より５名の増加で８名となり１２１名になる予定。
２０２３年度への課題として３歳児入園が年によって大きな減とならないよう、教職員全体で危機意識をもって募集活動が展開できるように努める（教職員全体でそれぞれのアイディアを出し共通理解をしながら取り組む時間を確保する)。２０２３年度から満３歳児を受け入れることが経営会議にて決定し、園則の改定、市への届け出、市からの承認を受け３歳児と同様に募集活動を行った。
＜園児募集につながる子育て支援の充実＞
① バリエーション豊富な子育て支援
０歳児から在園児、卒園児（兄姉）をも含めた幅広い子育て支援の実施
② 園児募集に直結するプレスクールの充実とともに子育ての相談に随時応じ信頼関係を作る。説明会を８月から２月まで毎月行う。
③ 園庭開放、保育への参加、保育室開放等を毎月切れ目なく行い、なおかつプレスクール以外の無料で実施している活動に関しては町田市子ども生活部子育て推進課が毎月発行している町田市子育てひろばカレンダーに昨年度同様記載を依頼する。（町田市公式ホームページにもリンクしている）
④ 八王子の子育て施設に毎月の未就園児の予定をおいてもらう。（八王子市南大沢子育て支援センター）
⑤ 在園児には預かり保育の充実（例年通り）
早朝保育（保育開始前８：００から９：００まで）
長期休み中の預かり保育と預かり時間（８：００～１８：００まで）
参加者が多い場合は複数担当の配置。
⑥ 地域のイベント（商工会の祭り等）に可能な限り協力し、本園の認識を広めるとともに積極的に会議に出向き情報収集に努める。
⑦ 地域の子どもセンターで行っているイベントに園長が出向き地域の乳幼児やその保護者と交わりを持ち本園の特徴を説明し興味を持ってもらう。
⑧町田市堺地域子育てネットワーク会議および研修に参加し、地域の中の幼稚園として子育て環境や子育て支援についての意見交換をし、園の存在価値を広める。
⑨土曜の広場
対象どなたでも。春から夏にかけては月１回から２回に増やす（平日では見られない園の様子を土曜日に特に父親の園見学や質問に応じる。）
⇒上記事業は予定どおり実施しほかに下記事業を行った
⑩親子体操の追加（５月より１歳児からの親子体操）

― 教員の養成 ―

一昨年から実施している学院長による教職員への要理を継続する。これを通してカトリックについてとカトリック・ミッションスクールへの理解を深める。また、新規採用者３名はサレジアンファミリー研修に年間を通して参加する。学年の担任同士で経験者がイニシアチブを取り、園長、主任の助言の下、新任を育成する。さまざまな教育機関（全国カトリック幼稚園連盟、私学財団研修、東京都私立幼稚園協会研修、町田私立幼稚園協会等）が開催する幼稚園教諭の研修会に積極的に参加し、現場に学んだことを活かす。研修の内容を全職員で共有する。

⇒予定どおり実施

Ⅱ．財務関係予算方針

施設関係　　建物の改修については、突発的なことで園児に危険を及ぼす状況にある場合は速やかに何よりも優先して修理等を行う。

⇒小規模な修繕を実施

備品調達　　大型の遊具の購入の予定はないが必要に応じて購入していく。

⇒大型の遊具の購入はなかったが補助金を利用し全保育室へ空気清浄機設置、又図書の購入を行った。

広報関係　まだ認知度を上げることが必要である。過去、園バスが通っていたが卒園したことでバスが通らなくなった橋本地域、また南大沢地域にも有効な宣伝を打つ。

⇒有効な宣伝の方法を模索した。

2022年度未就園児および地域活動一覧　町田サレジオ幼稚園

名称（担当）	対象(年齢)	申込方法	費用	内容	活動日
ベビーマッサージ （ｱｲﾘｽ代表 片山千恵講師）	生後３ヶ月～ 10ヶ月	必要（各回定員12組） 実施月初日 10時より 電話受付（除土日祝）	オイル代　300円	ベビーマッサージ 母子で癒しの時間を 過ごしましょう。 途中授乳休憩あり	年４回 ５月、８月、 11月、２月
季節の手形足形アート （ころりんこ 渡邉美穂子講師）	０歳～２歳まで	必要（各回定員15組） 実施月初日 10時より 電話受付（除土日祝）	材料費　600円	講師の先生と楽しく 親子でアートに挑戦	年４回 ４月、７月、 10月、１月
カンガルー広場 （園長）	０歳～２歳まで （未就園親子）	不要	無料	※保育室開放 乳幼児親子の自由遊び （応子育て相談）	毎週 火、水、木、金 10:00～11:30
エンジェルクラブ ～ＨＯＷＤＥＥ （はじめまして）～ （園長）	2020年４月２日から2021年４月１日(１歳児親子)10月より 2021年４月２日以降で満１歳になった方も参加できます。	必要 2022年２月１日(火) 10:00より電話受付	入会時のみ500円 毎回の参加費 200円 （但し教材の準備のため前日までに予約）	お母様の子育て応援のクラブ。一緒に幼稚園でいろいろな活動を楽しく過ごしましょう	年15回 月曜日に開催 9:30～10:45 12月と３月は 11:00～12:15

ペンギンクラス （園長）	2019年4月2日 から2020年4月 1日　2歳児親子	必要 募集中定員10組 要　お問い合わせ	募集案内をご覧ください	前期　親子教室 後期　母子分離教室	前期5月～10月 11回 後期11月～3月 9回 9:30～10:45
こばとクラス/ 母子分離 （担当）杉崎　関根	2019年4月2日 から2020年4月 1日2歳児	必要　募集中 定員40名	募集案内を ご覧ください	母子分離保育	火木、水金 2コース 年間約60回
コアラの日（保育体験）	2019年4月2日 から2020年4月 1日　2歳児	必要（各回定員15組）	無料	幼稚園体験、先生や園児と遊びましょう	保育体験 10：30～11：30 5月、6月
園庭開放	未就園児親子	不要（雨天中止）	無料	幼稚園のお兄さんお姉さんと一緒に遊びましょう	市の子育て広報にて周知（年10回）
土曜の広場（地域開放） 園長　長山	在園児、その家族（両親、祖父母、兄姉）近隣の小学生および保護者 未就園児親子　近隣のシニアの皆様	不要	無料	昔遊び　園庭遊び 保育室開放（※と同）	4月から7月は月2回 8月から3月は月1回 年間16回 土曜日開催

学校分析表　データ入力シート（法人全体用）

学校法人育英学院

注2.　薄緑色部分と青字は自動計算されるので入力しないこと。赤字は、各自入力。
注3.　教育研究経費と管理経費が経費１本のとき（神奈川県など）は、教育研究経費欄に入力する。
注4.　＊の付いている科目は、計算書類の金額を入力する。
　　帰属収入の合計・人件費・消費支出の合計は、退職財団交付金収入控除後の金額になる。
注5.　△退職金収入・△教育経費の減価償却額・△管理経費の減価償却額の欄は、マイナス表示で入力する。

１．消費収入・消費支出の推移（消費収支計算書より）

１）当学校法人のデータ

（単位：千円）

	30年度	構成比率	元年度	構成比率	２年度	構成比率	３年度	構成比率	４年度	構成比率
納付金	1,276,225	55.1%	1,180,429	69.7%	1,220,917	71.2%	1,172,805	70.5%	1,155,018	68.7%
補助金	411,656	17.8%	422,615	24.9%	421,440	24.6%	414,216	24.9%	428,709	25.5%
寄付金	10,643	0.5%	18,467	1.1%	8,653	0.5%	8,408	0.5%	11,222	0.7%
その他事業活動収入	617,324	26.7%	72,465	4.3%	64,344	3.8%	69,120	4.2%	85,182	5.1%
＊修正前事業活動収入の合計	2,343,212	—	1,766,433	—	1,785,007	—	1,700,631	—	1,753,445	—
△退職金収入	△ 27,364	—	△ 72,457	—	△ 69,653	—	△ 36,082	—	△ 73,314	—
事業活動収入計	2,315,848	100.0%	1,693,976	100.0%	1,715,354	100.0%	1,664,549	100.0%	1,680,131	100.0%
＊修正前人件費	1,131,298	—	1,204,076	—	1,202,697	—	1,161,850	—	1,219,404	—
人件費	1,103,934	47.7%	1,131,619	66.8%	1,133,044	66.1%	1,125,768	67.6%	1,146,090	68.2%
教育研究経費	562,278	—	531,853	—	452,344	—	485,359	—	510,164	—
△教育経費の減価償却額	△ 258,074	11.1%	△ 247,524	14.6%	△ 181,365	10.6%	△ 169,479	10.2%	△ 181,586	10.8%
差引教育研究経費	304,204	13.1%	284,329	16.8%	270,979	15.8%	315,880	19.0%	328,578	19.6%
管理経費	139,377	—	141,305	—	110,440	—	130,384	—	133,150	—
△管理経費の減価償却額	△ 39,390	1.7%	△ 39,841	2.4%	△ 32,516	1.9%	△ 34,250	2.1%	△ 32,173	1.9%
差引管理経費	99,987	4.3%	101,464	6.0%	77,924	4.5%	96,134	5.8%	100,977	6.0%
支払教育管理経費	404,191	—	385,793	—	348,903	—	412,014	—	429,555	—
減価償却額	297,464	—	287,365	—	213,881	—	203,729	—	213,759	—
その他事業活動支出	3,704	0.2%	3,337	0.2%	6,849	0.4%	3,059	0.2%	3,786	0.2%
＊修正前事業活動支出計	1,836,657	—	1,880,571	—	1,772,330	—	1,780,652	—	1,866,504	—
事業活動支出計	1,809,293	78.1%	1,808,114	106.7%	1,702,677	99.3%	1,744,570	104.8%	1,793,190	106.7%
純資産増加額	506,555	21.9%	△ 114,138	-6.7%	12,677	0.7%	△ 80,021	-4.8%	△ 113,059	-6.7%

２）平均のデータ

「今日の私学財政　南関東平均」（各a/c÷サンプル数）

（単位：千円）

	30年度	構成比率	元年度	構成比率	２年度	構成比率	３年度	構成比率
納付金	1,161,214	60.8%	1,125,642	61.1%	1,101,000	60.0%		#DIV/0!
補助金	490,857	25.7%	476,928	25.9%	509,777	27.8%		#DIV/0!
寄付金	38,535	2.0%	31,250	1.7%	26,888	1.5%		#DIV/0!
その他事業活動収入	218,144	11.4%	209,501	11.4%	196,186	10.7%	0	#DIV/0!
事業活動収入計	1,908,750	100.0%	1,843,321	100.0%	1,833,851	100.0%		#DIV/0!
人件費	1,133,857	59.4%	1,129,750	61.3%	1,095,111	59.7%		#DIV/0!
教育研究経費	526,857	—	534,107	—	525,259	—		—
△教育経費の減価償却額	△ 191,607	10.0%	△ 186,785	10.1%	△ 183,111	10.0%		#DIV/0!
差引教育研究経費	335,250	17.6%	347,322	18.8%	342,148	18.7%	0	#DIV/0!
管理経費	219,785	—	222,214	—	203,629	—		—
△管理経費の減価償却額	△ 25,678	1.3%	△ 25,571	1.4%	△ 26,000	1.4%		#DIV/0!
差引管理経費	194,107	10.2%	196,643	10.7%	177,629	9.7%	0	#DIV/0!
支払教育管理経費	529,357	—	543,965	—	519,777	—	0	—
減価償却額	217,285	—	212,356	—	209,111	—	0	—
その他事業活動支出	33,751	1.8%	56,750	3.1%	22,815	1.2%	0	#DIV/0!
事業活動支出計	1,914,250	100.3%	1,942,821	105.4%	1,846,814	100.7%		#DIV/0!
純資産増加額	△ 5,500	-0.3%	△ 99,500	-5.4%	△ 12,963	-0.7%	0	#DIV/0!

（学校法人全体の状況）

１．事業活動収入・事業活動支出の推移

表1-1.　事業活動収支計算書　　（単位:千円）

科目	年度	当校のデータ 30年度 金額	30年度 構成比率	元年度 金額	元年度 構成比率	２年度 金額	２年度 構成比率	３年度 金額	３年度 構成比率	４年度 金額	４年度 構成比率
事業活動収入	学生生徒等納付金	1,276,225	55.1%	1,180,429	69.7%	1,220,917	71.2%	1,172,805	70.5%	1,155,018	68.7%
	補助金	411,656	17.8%	422,615	24.9%	421,440	24.6%	414,216	24.9%	428,709	25.5%
	寄付金	10,643	0.5%	18,467	1.1%	8,653	0.5%	8,408	0.5%	11,222	0.7%
	その他事業活動収入	617,324	26.7%	72,465	4.3%	64,344	3.8%	69,120	4.2%	85,182	5.1%
	事業活動収入（A）	2,315,848	100.0%	1,693,976	100.0%	1,715,354	100.0%	1,664,549	100.0%	1,680,131	100.0%
事業活動支出	人件費	1,103,934	47.7%	1,131,619	66.8%	1,133,044	66.1%	1,125,768	67.6%	1,146,090	68.2%
	教育研究経費	304,204	13.1%	284,329	16.8%	270,979	15.8%	315,880	19.0%	328,578	19.6%
	教育研究経費の減価償却額	258,074	11.1%	247,524	14.6%	181,365	10.6%	169,479	10.2%	181,586	10.8%
	管理経費	99,987	4.3%	101,464	6.0%	77,924	4.5%	96,134	5.8%	100,977	6.0%
	管理経費の減価償却額	39,390	1.7%	39,841	2.4%	32,516	1.9%	34,250	2.1%	32,173	1.9%
	その他事業活動支出	3,704	0.2%	3,337	0.2%	6,849	0.4%	3,059	0.2%	3,786	0.2%
	事業活動支出（B）	1,809,293	78.1%	1,808,114	106.7%	1,702,677	99.3%	1,744,570	104.8%	1,793,190	106.7%
純資産増加額 (A)-(B)		506,555	21.9%	△ 114,138	△ 6.7%	12,677	0.7%	△ 80,021	△ 4.8%	△ 113,059	△ 6.7%

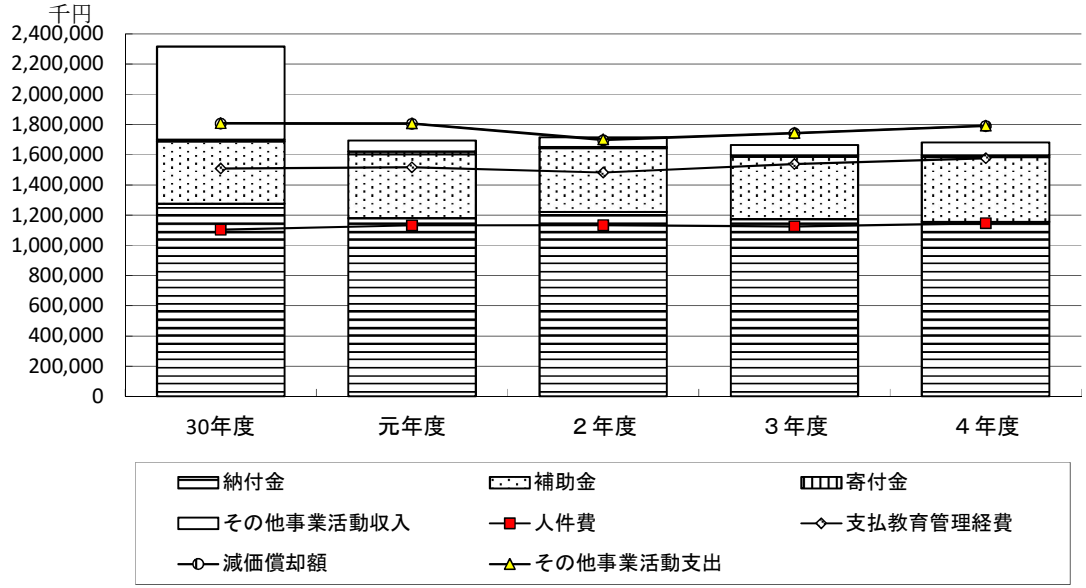
＊ただし、退職金収入の額を事業活動収入の合計、人件費、事業活動支出の合計から控除しています。

表1-2 事業活動収支計算書　　（単位:千円）

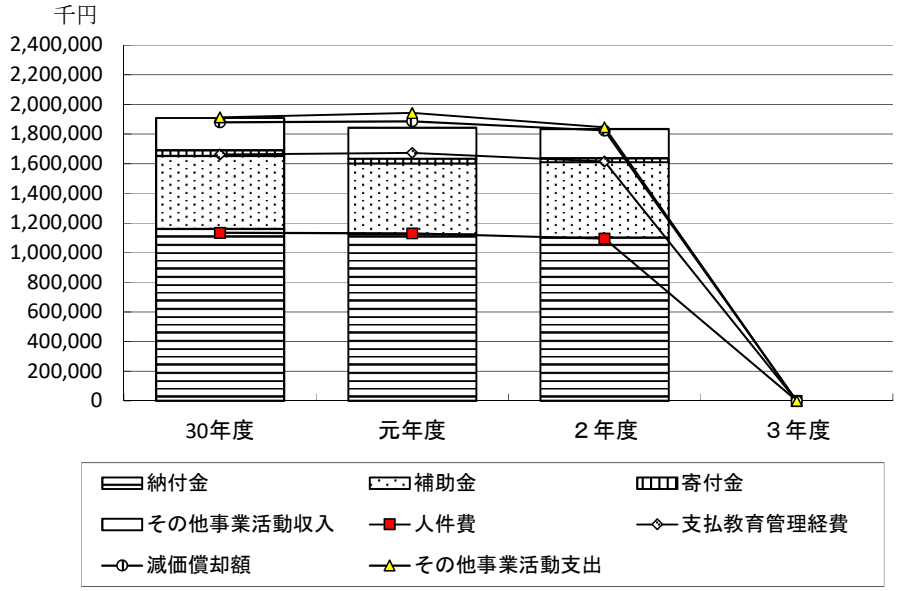
科目	年度	平均のデータ 30年度 金額	30年度 構成比率	元年度 金額	元年度 構成比率	２年度 金額	２年度 構成比率	３年度 金額	３年度 構成比率
事業活動収入	納付金	1,161,214	60.8%	1,125,642	61.1%	1,101,000	60.0%	0	#DIV/0!
	補助金	490,857	25.7%	476,928	25.9%	509,777	27.8%	0	#DIV/0!
	寄付金	38,535	2.0%	31,250	1.7%	26,888	1.5%	0	#DIV/0!
	その他事業活動収入	218,144	11.4%	209,501	11.4%	196,186	10.7%	0	#DIV/0!
	事業活動収入（A）	1,908,750	100.0%	1,843,321	100.0%	1,833,851	100.0%	0	#DIV/0!
事業活動支出	人件費	1,133,857	59.4%	1,129,750	61.3%	1,095,111	59.7%	0	#DIV/0!
	教育研究経費	335,250	17.6%	347,322	18.8%	342,148	18.7%	0	#DIV/0!
	教育研究経費の減価償却額	191,607	10.0%	186,785	10.1%	183,111	10.0%	0	#DIV/0!
	管理経費	194,107	10.2%	196,643	10.7%	177,629	9.7%	0	#DIV/0!
	管理経費の減価償却額	25,678	1.3%	25,571	1.4%	26,000	1.4%	0	#DIV/0!
	その他事業活動支出	33,751	1.8%	56,750	3.1%	22,815	1.2%	0	#DIV/0!
	事業活動支出（B）	1,914,250	100.3%	1,942,821	105.4%	1,846,814	100.7%	0	#DIV/0!
純資産増加額 (A)-(B)		△ 5,500	△ 0.3%	△ 99,500	△ 5.4%	△ 12,963	△ 0.7%	0	#DIV/0!

平均のデータは「今日の私学財政 南関東平均」によっています。

グラフ1-1. 当校のデータ



グラフ1-2. 平均のデータ



監　査　報　告　書

令和5年5月25日

学校法人　育　英　学　院
理　事　長　殿
理　事　会　御　中
評　議　員　会　御　中

学校法人　育　英　学　院

監事　前田崇史

監事　菅野正

私たちは、私立学校法第３７条第３項に基づく監査報告を行うため、学校法人育英学院の寄附行為第１５条の規定に従い、学校法人育英学院の令和４年度（令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上